

KIP

KIPRipT

取扱説明書

-
- Pentium は、米国インテル社の商標または登録商標です。
 - Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - その他本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
 - マニュアルの一部または全部を桂川電機株式会社の書面による許可なく複写、複製することは、その形態を問わず禁じます。
 - マニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

All Rights Reserved, Copyright (c) 2015 KIP CORPORATION, KATSURAGAWA ELECTRIC CO., LTD.

はじめに

KIPRipT は、ワークフローRIPなどで CMYK および特色に分版された TIFF イメージを弊社プリンター (KIP プリンター、Starprint シリーズ) から印刷を行うためのユーティリティです。

また、複数のホットフォルダが設定でき、ホットフォルダ別に異なる設定が行えます。

本書では、KIPRipT のインストールや表示内容、操作方法に関する情報を記載しています。初めてお使いになる場合や操作手順が分からなかった場合に、ご活用ください。

<空白ページ>

<目次>

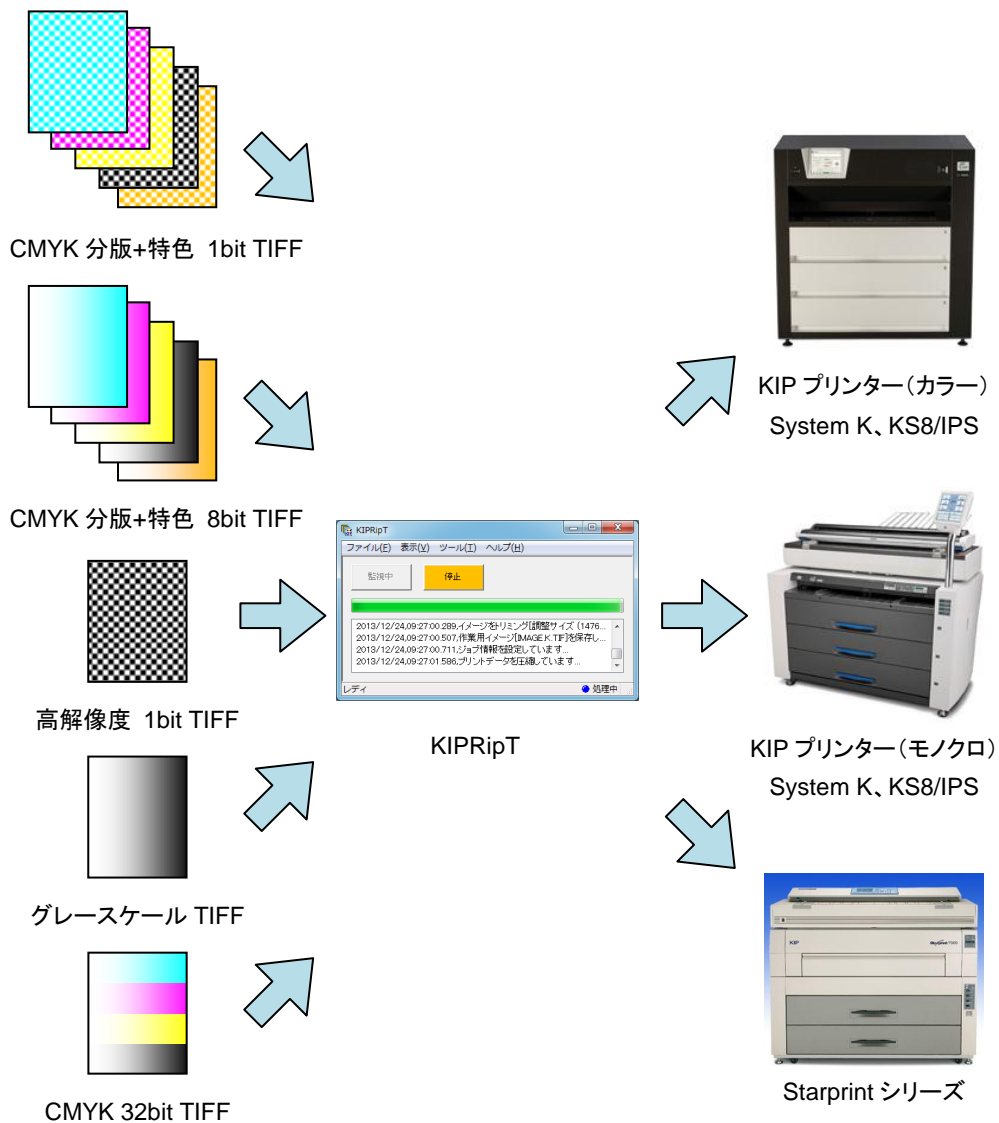
第1章 ソフトウェアの概要	7
第2章 動作環境	9
2.1 動作環境	10
2.2 対応フォーマット.....	12
2.2.1 入力	12
2.2.2 出力	12
2.3 ファイル名書式	13
2.3.1 入力	13
2.3.2 出力	14
第3章 インストール／アンインストール	15
3.1 インストール.....	16
3.2 アンインストール	21
第4章 基本操作	23
4.1 プログラムの起動と終了	24
4.1.1 KIPRipT を起動する.....	24
4.1.2 KIPRipT を終了する.....	25
4.2 画面の構成	26
4.2.1 メインウィンドウ.....	26
4.3 KIPRipT を使用する	27
4.3.1 【印刷】TIFF ファイルを印刷する.....	27
4.3.2 【設定】ホットフォルダの設定を変更する	29
4.3.3 【設定】特色に対応したホットフォルダを設定する	33
4.3.4 【設定】版数を指定したホットフォルダを設定する.....	40
4.3.5 【設定】地色を指定したホットフォルダを設定する.....	46
4.3.6 【設定】ヘッダー/フッターを指定したホットフォルダを設定する	53
4.3.7 【設定】精細処理機能を指定したホットフォルダを設定する	60
4.3.8 【ログ】処理の詳細を記録したログファイルを参照する.....	71
4.3.9 【エラー処理】エラーになったファイルを参照する	73
4.3.10 【その他】不要なファイルを自動的に削除する	75
第5章 機能詳細	79
5.1 「メインウィンドウ」画面の詳細	80
5.1.1 メニューバー	80
5.1.2 メインボタン	81
5.1.3 ステータスバー	81

5.1.4 状態表示エリア.....	82
5.2 「オプション」画面の詳細.....	83
5.3 「RIP 設定」画面の詳細.....	84
5.3.1 基本設定.....	85
5.3.2 詳細設定.....	89
5.3.3 画質設定.....	93
5.3.4 レイアウト.....	95
5.4 「トーンカーブ」画面の詳細.....	98
5.4.1 トーンカーブグラフ.....	99
5.4.2 トーンカーブ設定例.....	100
5.5 「用紙サイズ編集」画面の詳細.....	101
5.5.1 用紙サイズリスト.....	102
5.5.2 用紙サイズの判断について.....	102
5.6 印刷処理の詳細.....	103
5.6.1 フローチャート.....	103
5.6.2 処理の詳細.....	104
お問合せ先.....	115

第1章 ソフトウェアの概要

KIPRipT は、ワークフロー-RIP などでは CMYK および特色に分版された TIFF イメージを弊社プリンター (KIP プリンター、Starprint シリーズ) から印刷を行うためのユーティリティです。

また、複数のホットフォルダが設定でき、ホットフォルダ別に異なる設定が行えます。



第2章 動作環境

2.1 動作環境

KIPRipT は、以下の条件を満たす環境で動作します。

- IBM PC/AT もしくはその互換機
- OS
 - 日本語 Microsoft Windows XP Home Edition, Professional
 - 日本語 Microsoft Windows Vista
 - 日本語 Microsoft Windows 7
 - 日本語 Microsoft Windows 8 / 8.1
 - 日本語 Microsoft Windows 10
 - 日本語 Microsoft Windows Server 2003
 - 日本語 Microsoft Windows Server 2008 / 2008 R2
 - 日本語 Microsoft Windows Server 2012 / 2012 R2

注意

各 OS に関しては、最新のサービスパックを適用してください。
64ビット版の OS では、WOW64 上で 32 ビットアプリケーションとして動作します。

- CPU
 - 使用 OS が推奨する環境以上
- メモリ容量
 - 使用 OS が推奨する環境以上(ただし、最小は 1GB)
- ハードディスク
 - 2GB 以上の空き容量
- デスクトップ環境
 - 解像度 1024 × 768 ピクセル以上、True カラー(24bit)以上を推奨

■ 対象機種

【カラープリンター】

System K (カラー) KIP 850 / KIP 860 / KIP 870 / KIP 940

KS8/IPS (カラー) KIP c7800 / KIP Color 80

【モノクロプリンター】

System K (モノクロ) KIP 770 / KIP 7170 / KIP 7770 / KIP 7970

KS8/IPS (モノクロ) KIP 700m / KIP 1520 / KIP 3000 / KIP 3100

KIP 5000 / KIP 7000 / KIP 7100 / KIP 7170

KIP 7700 / KIP 7770 / KIP 7900 / KIP 7970 / KIP 9900

Starprint シリーズ Starprint2000 / Starprint2400 / Starprint3000

Starprint4000 / Starprint4000II / Starprint5000

Starprint6000II / Starprint7000 / Starprint8000 / StarprintA1

注意

KIPRipT のインストールには、「コンピュータの管理者(Administrator)」権限が必要です。

2.2 対応フォーマット

KIPRipT が対応しているフォーマットは、以下のとおりです。

2.2.1 入力

■ TIFF ファイル

- 色数: モノクロ 2 値、グレースケール(8 ビット)、CMYK カラー(32 ビット)
- 圧縮形式: 非圧縮、CCITT Group 4、CCITT Group 3、LZW、PackBits
- ページ構成: シングルページ
- バイトオーダー: インテル、モトローラ
- ビットオーダー: MSB、LSB
- 画素数: 分版データの場合すべての版は同じ画素数であること。
- ファイル名: 拡張子の直前に版名が判断可能な文字列が含まれていること。
詳細は、後述の「2.3 ファイル名書式」を参照してください。

注意

解像度がイメージとプリンターで異なる場合、解像度変換の処理が発生します。そのため、印刷結果については処理元のイメージと印象が異なる場合があります。また、ファイル名に版名が判断可能な文字列を含んでいない場合、KIPRipT は分版ファイルを処理できません。

2.2.2 出力

■ KIP System K SDK

System K (カラー) 及び System K (モノクロ) の専用フォーマットとなります。
※フォーマットの詳細は非公開です。

■ JobTicket ファイル

KS8/IPS (カラー) 及び KS8/IPS (モノクロ) の専用フォーマットとなります。
※フォーマットの詳細は非公開です。

■ Printer Control Language ファイル

Starprint シリーズの専用フォーマットとなります。
※フォーマットの詳細は非公開です。

2.3 ファイル名書式

KIPRipT で分版ファイル进行处理するためにはファイル名から CMYK の版名を特定する必要があります。そのため、ホットフォルダには書式に従ったファイル名で TIFF ファイルを作成する必要があります。

2.3.1 入力

■ 書式

ファイル名 : <イメージ名称><版名>.TIF

<イメージ名称> : 基になるイメージの名称 任意の桁数

<版名> : イメージの版名 任意の桁数

(設定により任意の版名が指定可能)

【初期値】

"_C","_M","_Y","_K"

".C",".M",".Y",".K"

"_Cyan","_Magenta","_Yellow","_Black"

"Cyan","Magenta","Yellow","Black"

■ 書式例

1 文字の版名	ABCDEF_C.TIF	ABCDEF_1.TIF
	ABCDEF_M.TIF	ABCDEF_2.TIF
	ABCDEF_Y.TIF	
	ABCDEF_K.TIF	
文字列の版名	ABCDEF_Cyan.TIF	ABCDEF_DIC181.TIF
	ABCDEF_Magenta.TIF	
	ABCDEF_Yellow.TIF	
	ABCDEF_Black.TIF	

確認

単一ファイルでモノクロの印刷を行う場合は、ファイル名書式に従う必要はありません。また、「RIP 設定」画面で任意の版名を指定することが可能です。これは特色版を処理する際に必要な設定です。

注意

実際の処理では、大文字、小文字の区別は行いません。また、<イメージ名称>が同じであるファイルが処理の対象になります。

2.3.2 出力

■ 書式 (KIP System K SDK)

※ファイルは生成しません。

■ 書式 (JobTicket ファイル)

ファイル名 : <MMDD:36><HHMMSS:36><MSEC:36>.ZIP

<MMDD:36> : 処理開始時の日付を独自変換 2桁

<HHMMSS:36> : 処理開始時の時間を独自変換 4桁

<MSEC:36> : 処理開始時のミリ秒を独自変換 2桁

■ 書式 (Printer Control Language ファイル)

ファイル名 : <MMDD:36><HHMMSS:36><MSEC:36>.PCL

<MMDD:36> : 処理開始時の日付を独自変換 2桁

<HHMMSS:36> : 処理開始時の時間を独自変換 4桁

<MSEC:36> : 処理開始時のミリ秒を独自変換 2桁

第3章 インストール／アンインストール

3.1 インストール

KIPRipT をインストールします。

注意

KIPRipT のインストールには、「コンピュータの管理者(Administrator)」権限が必要です。

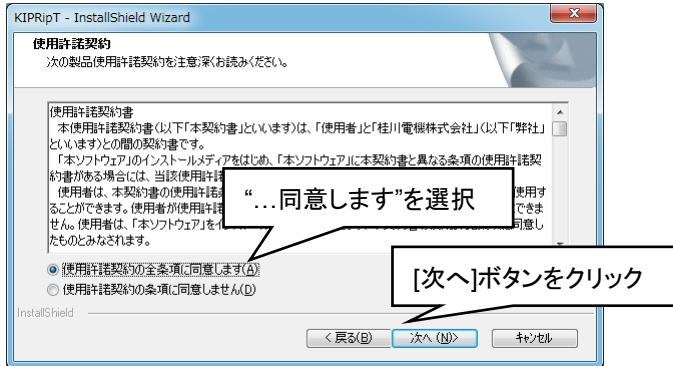
確認

インストールの操作は、Windows 7 での操作を基本に記述します。OS 毎にダイアログボックスの内容やボタンの名称が異なる場合があります。画面に表示される名称が異なる OS については、それぞれ名称を置き換えて操作をしてください。

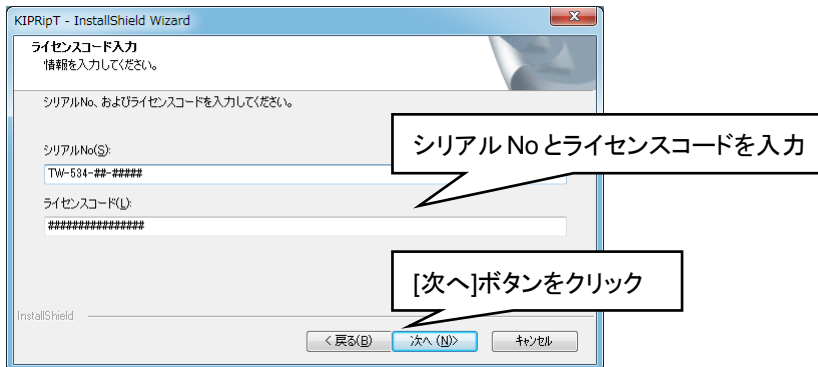
1. 「KIPRipT」と書かれたインストールメディアをドライブにセットします。
2. インストールメディアの内容を参照します。
3. 「SetupKIPRipT.exe」をダブルクリックします。
4. インストーラの初期画面を表示しますので、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



5. 「使用許諾契約」画面を表示しますので、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ(N)]ボタンをクリックします。



6. 「ライセンスコード入力」画面を表示しますので、「シリアル No」と「ライセンスコード」を入力して、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

**注意**

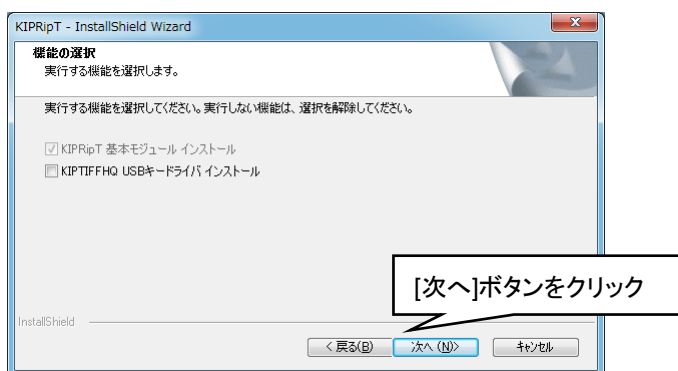
シリアル No とライセンスコードは、インストールメディアのラベル、または別紙の「ライセンスコード」に記載しています。正しい情報を入力すると、[次へ]ボタンが有効になります。

7. 「インストール先の選択」画面を表示しますので、インストール先のフォルダを確認します。必要に応じてインストール先を変更して、[次へ(N)]>ボタンをクリックします。



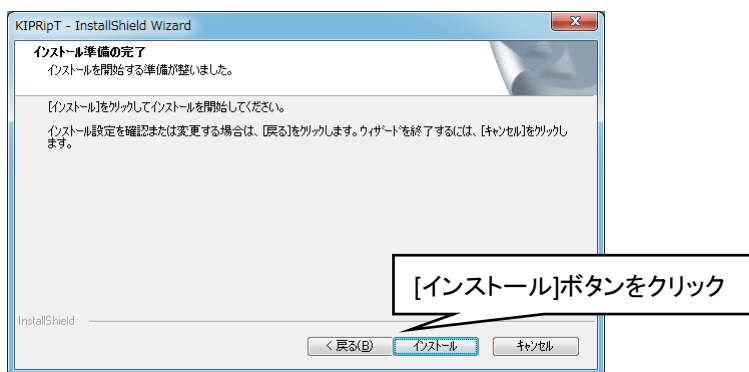
初期値は“C:¥KIP¥KIPRipT”です。

8. 「機能の選択」画面を表示しますので、実行する機能を選択して、[次へ(N)]>ボタンをクリックします。

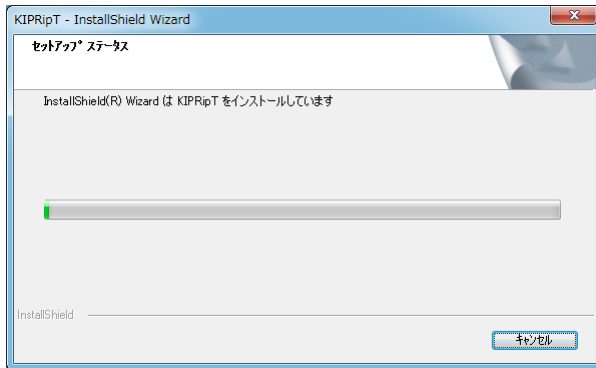


KIPTIFFHQ オプションを使用する場合は、「KIPTIFFHQ USB キードライバ インストール」を選択します。

9. 「インストール準備の完了」画面を表示しますので、[インストール]ボタンをクリックします。

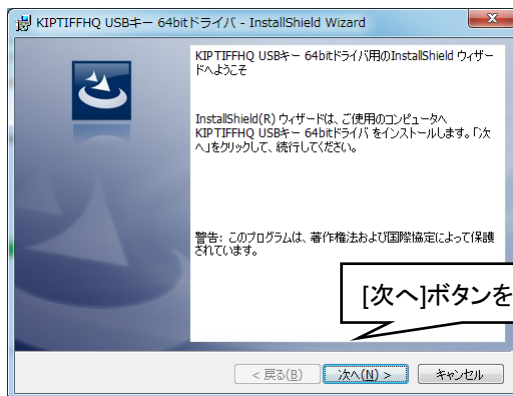


10. ファイルのコピーが開始します。

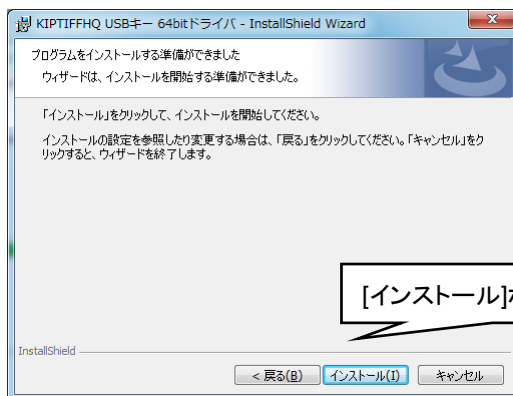


手順9で「KIPTIFFHQ USB キードライバ インストール」を選択した場合は、ここでUSBキードライバのインストールが開始します。

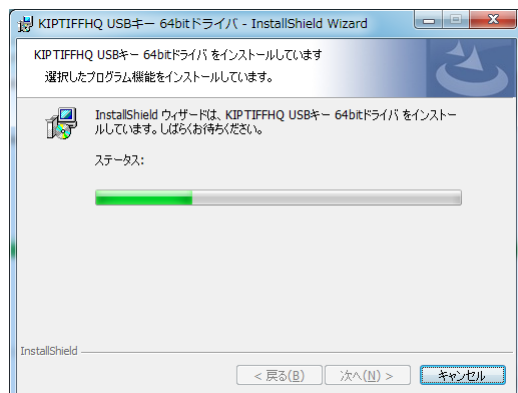
11-1. インストーラの初期画面を表示しますので、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



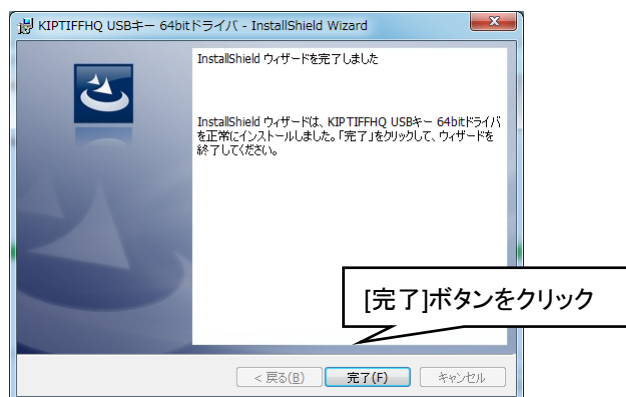
11-2. 「プログラムをインストールする準備ができました」画面を表示しますので、[インストール(I)]ボタンをクリックします。



11-3. ファイルのコピーが開始しますので、処理が完了するまで待機します。



11-4. インストール完了の画面を表示しますので、[完了(F)]ボタンをクリックします。



11. インストール完了の画面を表示しますので、[完了]ボタンをクリックします。



以上で KIPRipT のインストールは終了です。

3.2 アンインストール

KIPRipT をアンインストールします。

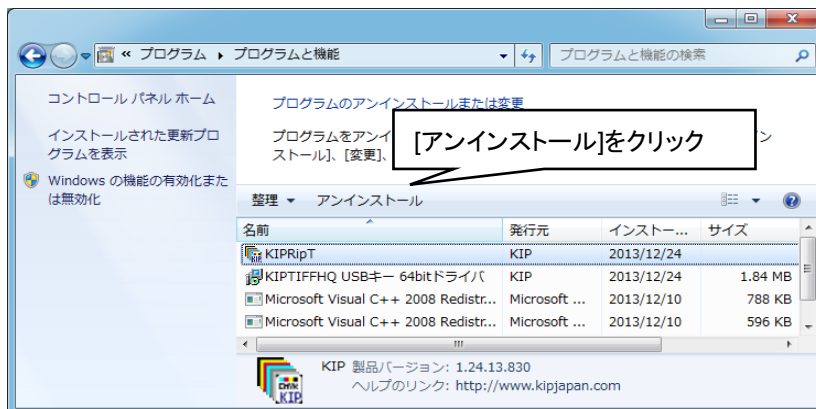
注意

KIPRipT のアンインストールには、「コンピュータの管理者(Administrator)」権限が必要です。

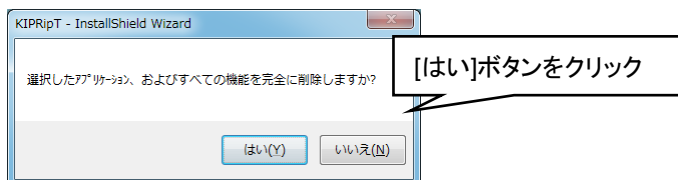
確認

アンインストールの操作は、Windows 7 での操作を基本に記述します。OS 毎にダイアログボックスの内容やボタンの名称が異なる場合があります。画面に表示される名称が異なる OS については、それぞれ名称を置き換えて操作してください。

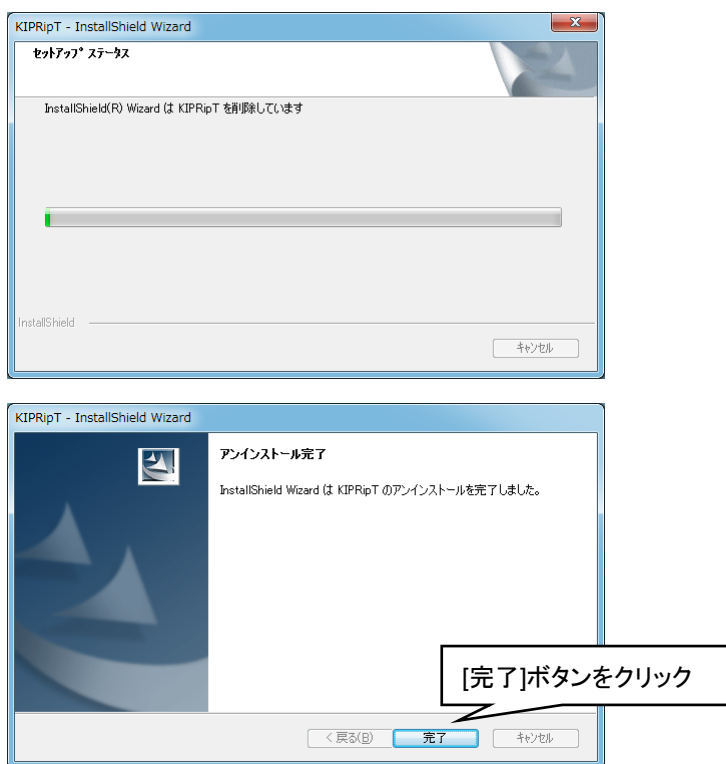
1. コントロールパネルを開きます。
2. [プログラム] – [プログラムのアンインストール]を選択します。
3. 一覧から、「KIPRipT」を選択して、[アンインストール]をクリックします。



4. 削除の確認画面を表示しますので、アンインストールを開始しても良ければ、[はい(Y)]ボタンをクリックします。



5. アンインストールの処理が完了すると、アンインストール完了の画面を表示しますので、[完了]ボタンをクリックします。



以上で KIPRipT のアンインストールは終了です。

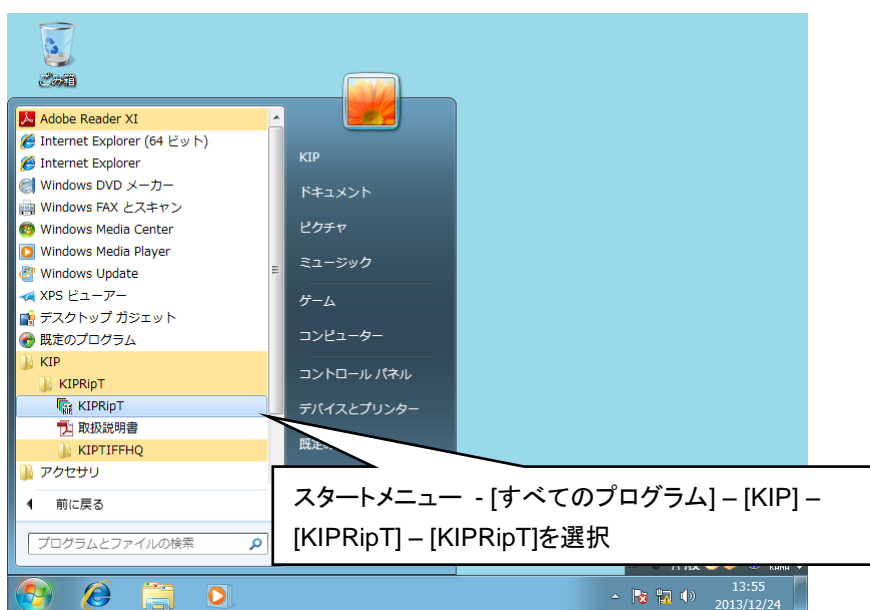
第4章 基本操作

4.1 プログラムの起動と終了

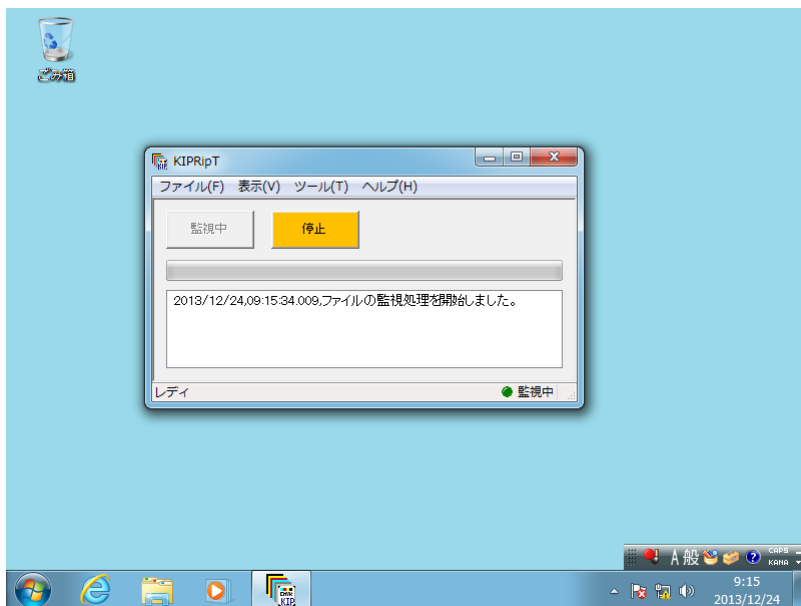
4.1.1 KIPripT を起動する

ここでは、KIPripT の起動方法について説明します。

1. デスクトップ上の[KIPripT]アイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから [すべてのプログラム] – [KIP] – [KIPripT] – [KIPripT]を選択します。



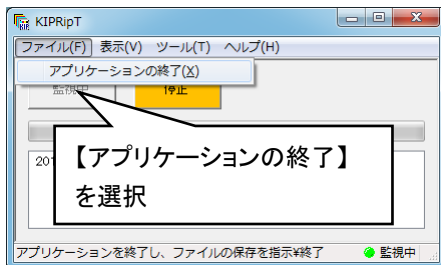
2. KIPRipT が起動します。



4.1.2 KIPRipT を終了する

ここでは、KIPRipT の終了方法について説明します。

1. メインウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックするか、メニューバーから【ファイル(F)】 - 【アプリケーションの終了(X)】を選択します。

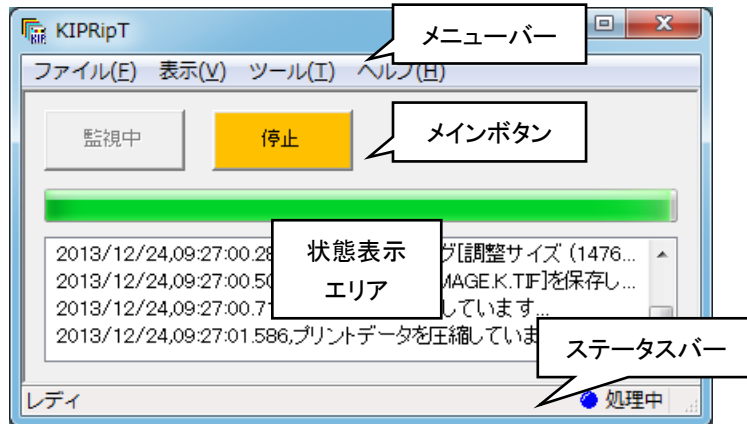


2. KIPRipT が終了します。

4.2 画面の構成

ここでは、KIPRipT の画面の名称や構成について説明します。
各機能の詳細は、「第5章 機能詳細」を参照してください。

4.2.1 メインウィンドウ



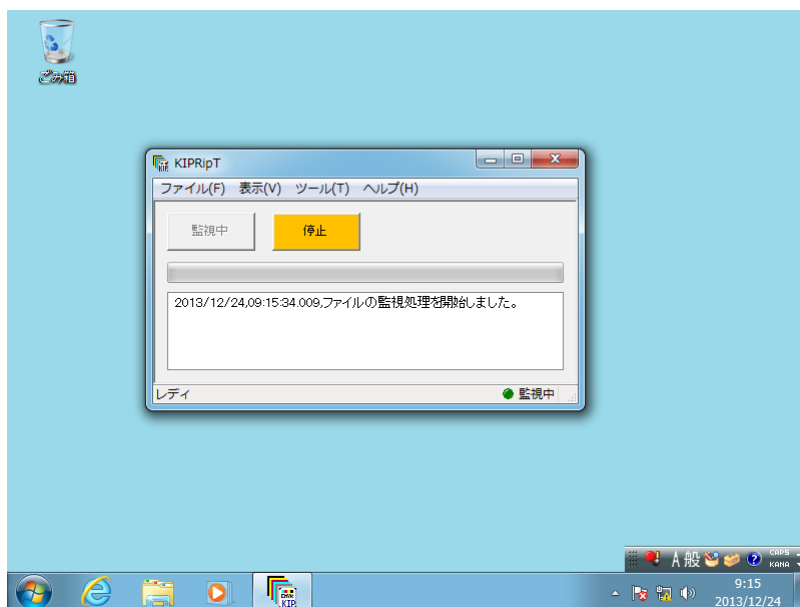
- **メニューバー**
【ファイル(E)】、【表示(V)】など KIPRipT の基本的な機能のメニューを表示します。
項目をクリックするとメニューがプルダウンして、コマンドの一覧を表示します。
- **メインボタン**
KIPRipT の基本的な機能を実行します。
- **ステータスバー**
KIPRipT の状態や実行する操作の説明を表示します。
- **状態表示エリア**
処理の詳細な状態を表示します。

4.3 KIPRipT を使用する

4.3.1 【印刷】 TIFF ファイルを印刷する

ここでは、TIFF ファイルを印刷する手順について説明します。

1. KIPRipT を起動します。



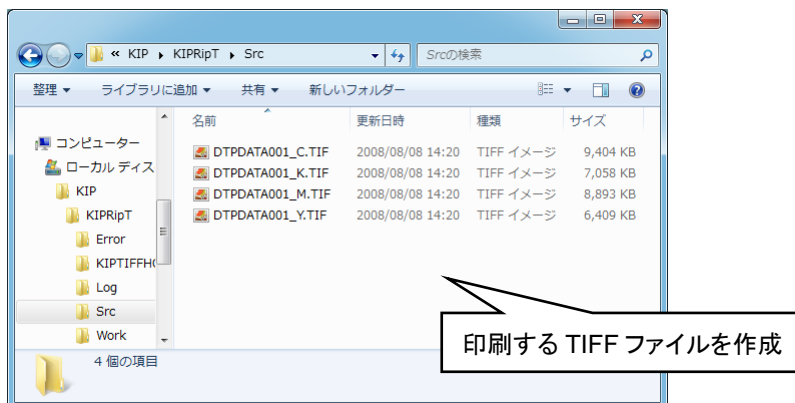
2. KIPRipT が監視するホットフォルダ(入力フォルダ)に TIFF ファイルを作成します。
RIP システムやエクスプローラなどから TIFF ファイルを転送してください。

確認

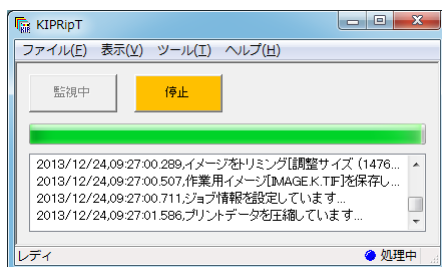
インストール直後のホットフォルダは下記のようにになっています。監視するホットフォルダは必要に応じて変更してください。

初期設定(入力フォルダ) : C:\¥KIP¥KIPRipT¥Src

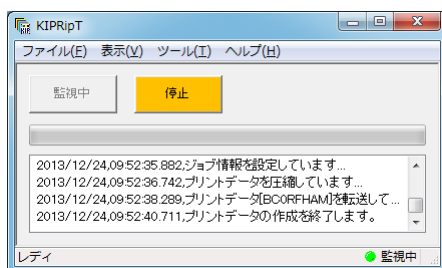
<例>



3. ホットフォルダ(入力フォルダ)に TIFF ファイルが作成されると自動的に印刷処理を行います。処理の状態はメインウィンドウに表示します。



4. 転送が完了するとプリンターは印刷を開始します。



確認

インストール直後の出力フォルダは下記のようになっています。そのままでは印刷できませんので、ご使用の環境に合わせて出力フォルダの IP アドレスまたはホスト名を変更してください。

初期設定(出力フォルダ) :FTP://127.0.0.1/

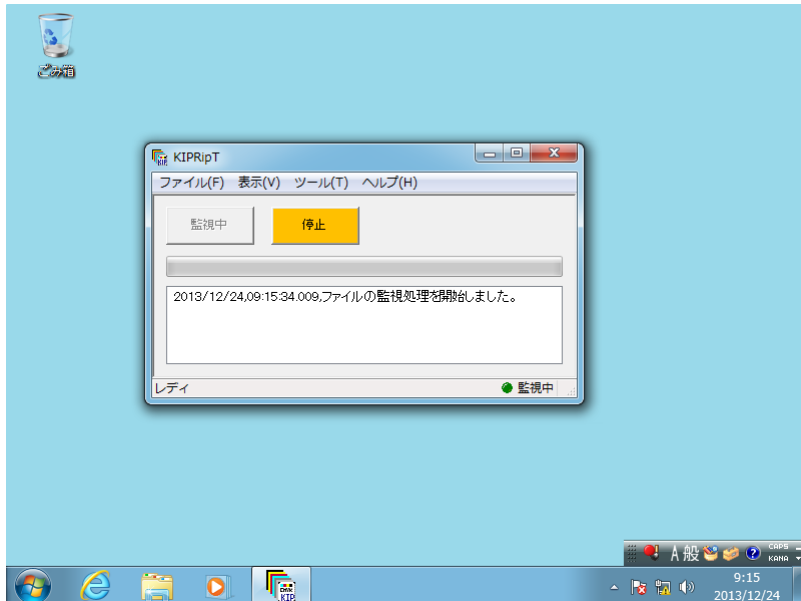
以上で、TIFF ファイルを印刷する手順については終了です。

4.3.2 【設定】ホットフォルダの設定を変更する

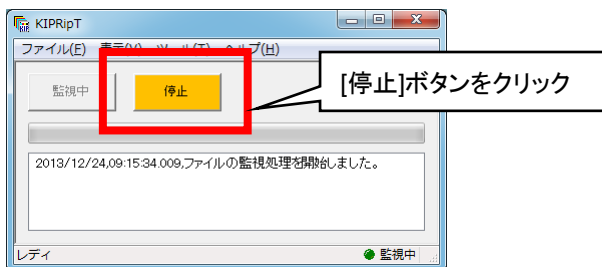
ここでは、監視するホットフォルダの設定を変更する手順について説明します。

KIPRipT は複数のホットフォルダが設定できますので、必要に応じて設定を追加、変更、削除して運用に合わせた処理を行うことができます。

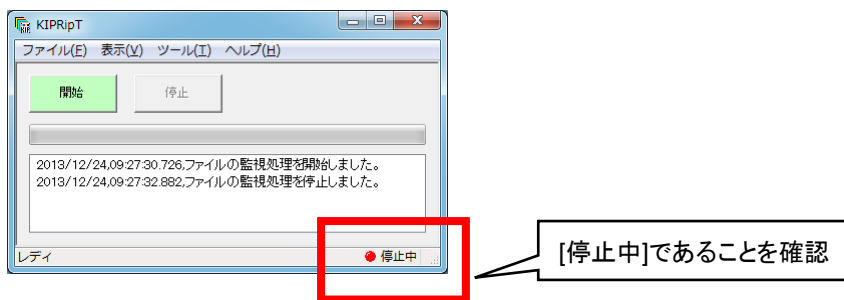
1. KIPRipT を起動します。



2. メインボタンの[停止]ボタンをクリックします。



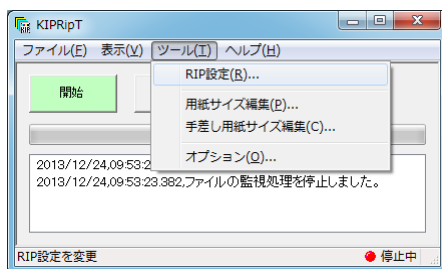
ステータスバーの表示が「停止中」になったことを確認します。



確認

「停止中」の状態では、ホットフォルダの監視を行いません。印刷を再開する場合は、[開始]ボタンをクリックします。

3. メニューバーから【ツール】-【RIP 設定】を選択します。



4. RIP 設定画面を表示しますので、運用に合わせて設定を変更します。

RIP設定

初期設定

追加(A) 削除(D) 上へ移動(U) 下へ移動(W) 設定名更新 すべてのプリンター情報を更新

OK キャンセル

設定名 初期設定

基本設定 | 詳細設定 | 画質設定 | レイアウト

入力

入力フォルダ C:\KIP\KIPRipT\Src 参照...

検索ファイル名 *.tif 版数 0 分版ファイル 単一ファイル

シアン 特色1

マゼンタ 特色2

イエロー 特色3

ブラック 特色4

タイムアウト 0 分

処理 エラー

出力

プリンター種類 KS8/IPS (カラー) 自動 圧縮して転送 モノクロで印刷

転送方法 FTP転送 PASSIVEモードを使う 転送タイムアウト

ホスト名 127.0.0.1 プリンター情報取得 30000 ミリ秒

出力フォルダ / 参照...

ユーザー名 パスワード

処理元のファイルを保存する 参照...

確認

設定項目の詳細については、後述の「5.3 「RIP 設定」画面の詳細」を参照してください。

5. 設定を更新します。
[OK]ボタンをクリックして、RIP 設定画面を閉じます。

RIP設定

初期設定

追加(A) 削除(D) 上へ移動(U) 下へ移動(W) 設定名更新 すべてのプリンター情報を更新

OK キャンセル

設定名 初期設定

基本設定 | 詳細設定 | 画質設定 | レイアウト

入力

入力フォルダ C:\KIP\KIPRipT\Src 参照...

検索ファイル名 *.tif 版数 0 分版ファイル 単一ファイル

シアン 特色1

マゼンタ 特色2

イエロー 特色3

ブラック 特色4

タイムアウト 0 分

処理 エラー

出力

プリンター種類 KS8/IPS (カラー) 自動 圧縮して転送 モノクロで印刷

転送方法 FTP転送 PASSIVEモードを使う 転送タイムアウト

ホスト名 192.168.0.5 プリンター情報取得 30000 ミリ秒

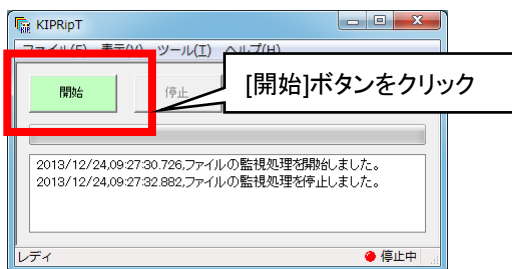
出力フォルダ / 参照...

ユーザー名 パスワード

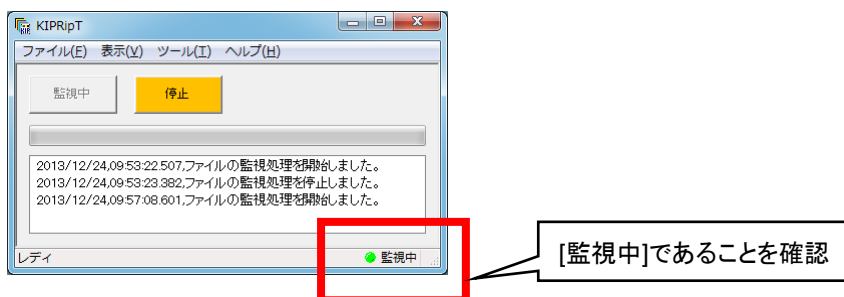
処理元のファイルを保存する 参照...

[OK]ボタンをクリック

メインボタンの[開始]ボタンをクリックします。



ステータスバーの表示が「監視中」になったことを確認します。



6. TIFF ファイルの印刷を実行します。

手順については前述の「4.3.1 【印刷】TIFF ファイルを印刷する」を参照してください。

設定した結果が反映されたことを確認します。

以上で、ホットフォルダの設定を変更する手順については終了です。

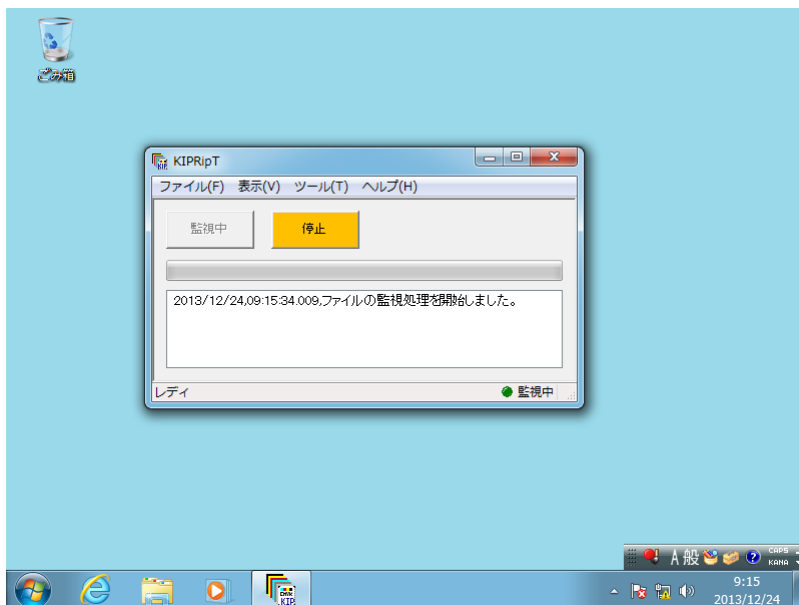
4.3.3 【設定】特色に対応したホットフォルダを設定する

ここでは、特色に対応したホットフォルダを設定する手順について説明します。

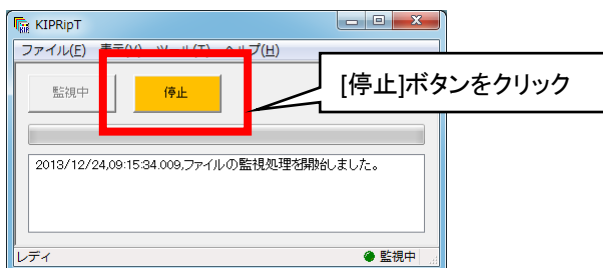
KIPRipT は特色を 4 版まで処理することができます。基本色の版(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)を合わせると最大 8 版までまとめて処理することができます。

KIP プリンターの特性上、特色の版を特別な色で印刷することはできませんが、基本色の濃度で色成分を割り当てることができます。

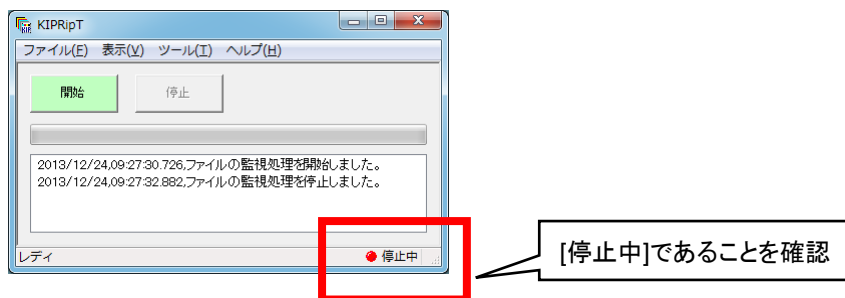
1. KIPRipT を起動します。



2. メインボタンの[停止]ボタンをクリックします。



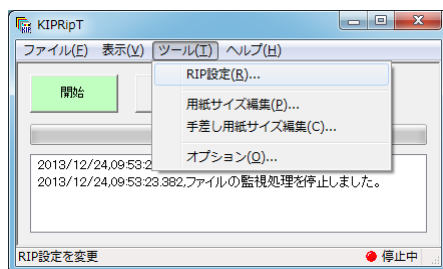
ステータスバーの表示が「停止中」になったことを確認します。



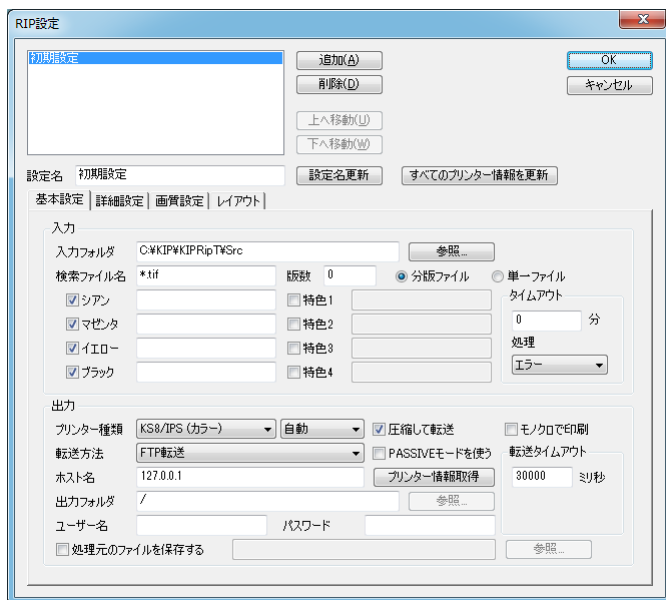
確認

「停止中」の状態では、ホットフォルダの監視を行いません。印刷を再開する場合は、[開始]ボタンをクリックします。

3. メニューバーから【ツール】-【RIP 設定】を選択します。



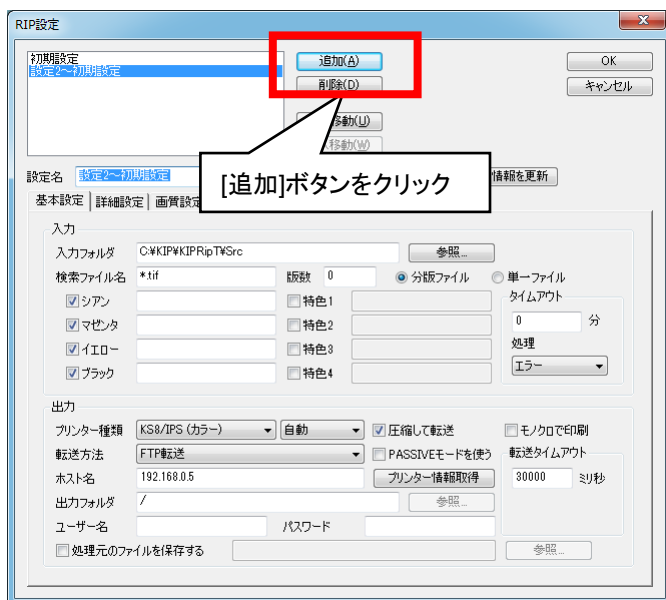
4. RIP 設定画面を表示しますので、運用に合わせて特色の設定を行います。



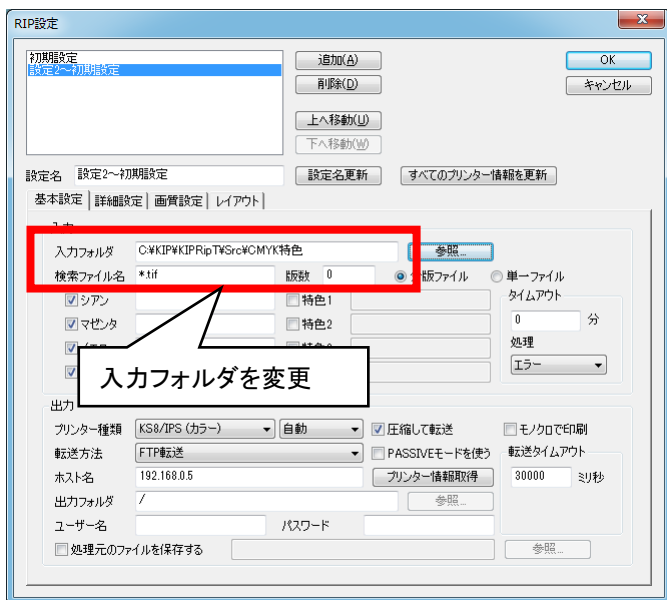
確認

設定項目の詳細については、後述の「5.3 「RIP 設定」画面の詳細」を参照してください。

5. [追加]ボタンをクリックして、設定リストに新しい設定を追加します。

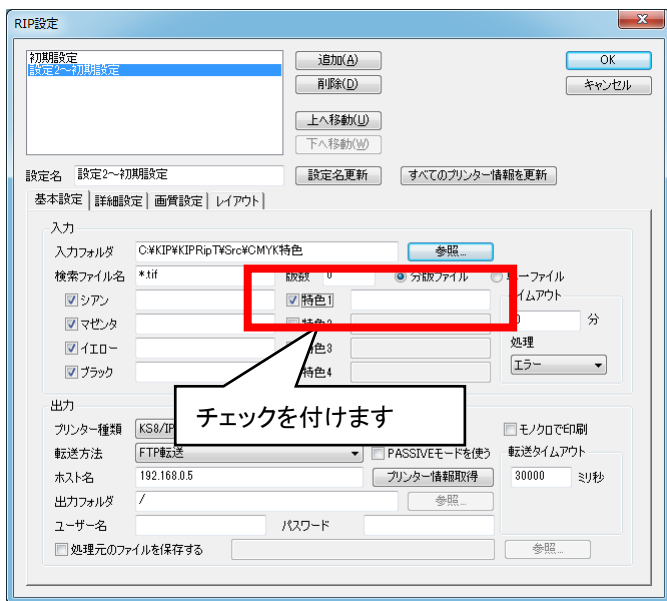


6. 「入力フォルダ」を変更します。

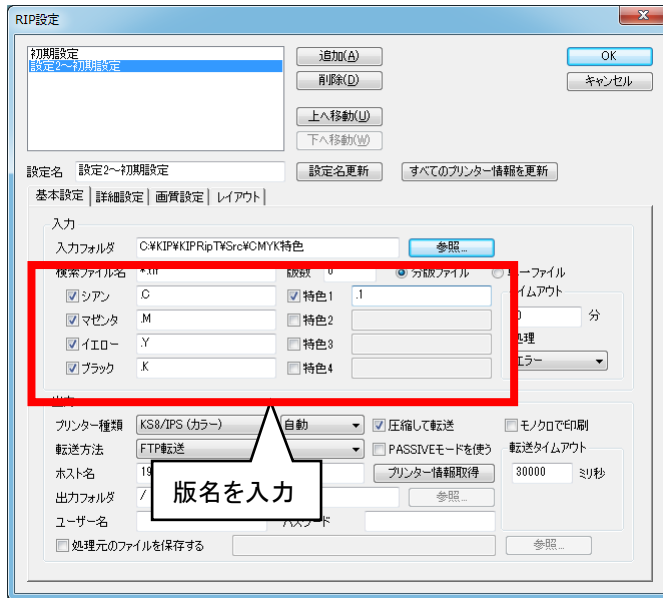


ここでは、「C:\¥KIP¥KIPRipT¥Src¥CMYK 特色」とします。

7. 「特色 1」にチェックを付けます。
版名を入力する欄が有効になります。



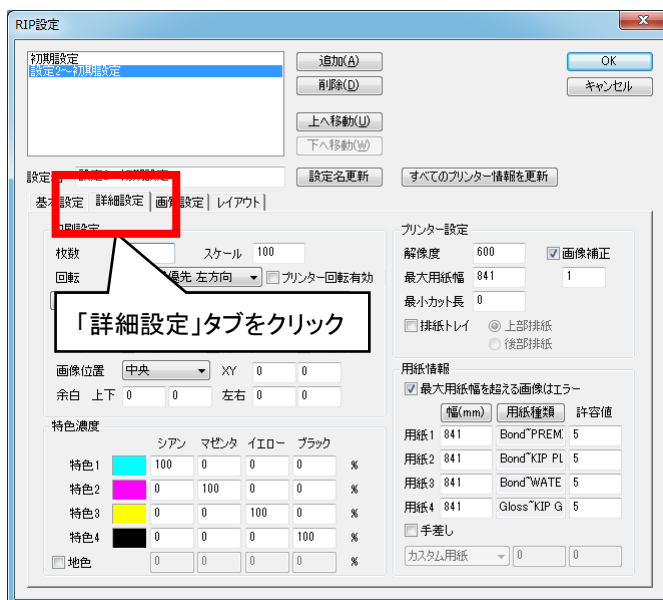
8. 版名の識別子を入力します。



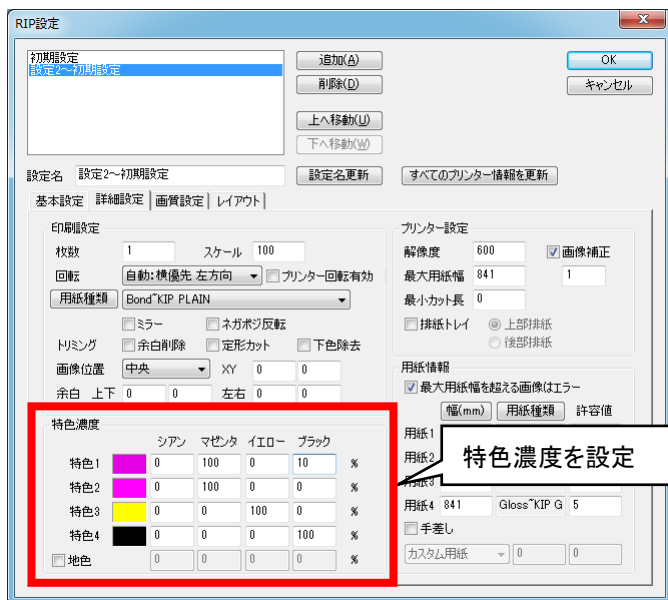
確認

版名の前に“_”(アンダーバー)や“.”(ピリオド)などがある場合は、一緒に入力してください。

9. 「詳細設定」タブをクリックします。



10. 特色濃度を設定します。

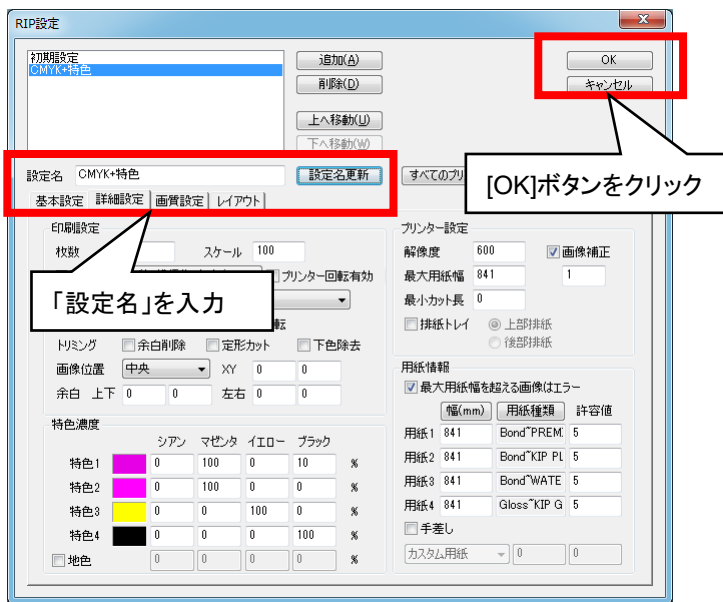


ここでは、特色1の濃度を「マゼンタ 100%、ブラック 10%」で設定します。

11. 設定を更新します。

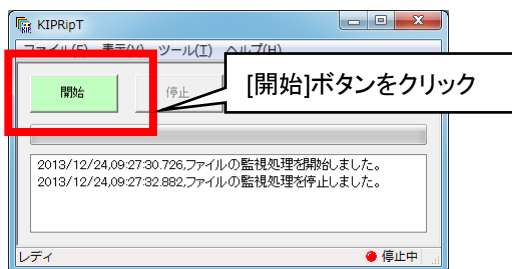
「設定名」を入力します。

[OK]ボタンをクリックして、RIP 設定画面を閉じます。

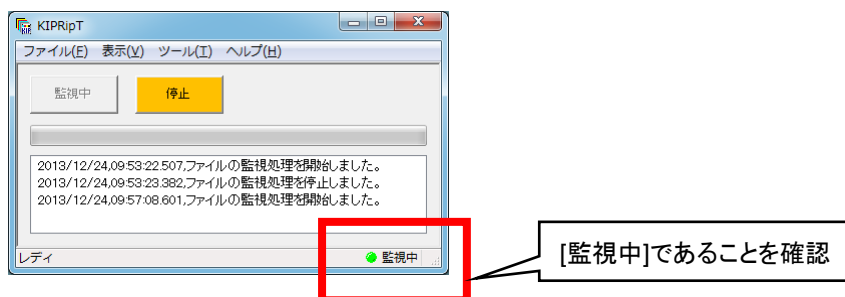


ここでは、「CMYK+特色」とします。

12. メインボタンの[開始]ボタンをクリックします。



ステータスバーの表示が「監視中」になったことを確認します。



13. TIFF ファイルの印刷を実行します。

手順については前述の「4.3.1 【印刷】TIFF ファイルを印刷する」を参照してください。

処理するファイル名の例: ABCDEF.C.TIF
ABCDEF.M.TIF
ABCDEF.Y.TIF
ABCDEF.K.TIF
ABCDEF.1.TIF

設定した結果が反映されたことを確認します。

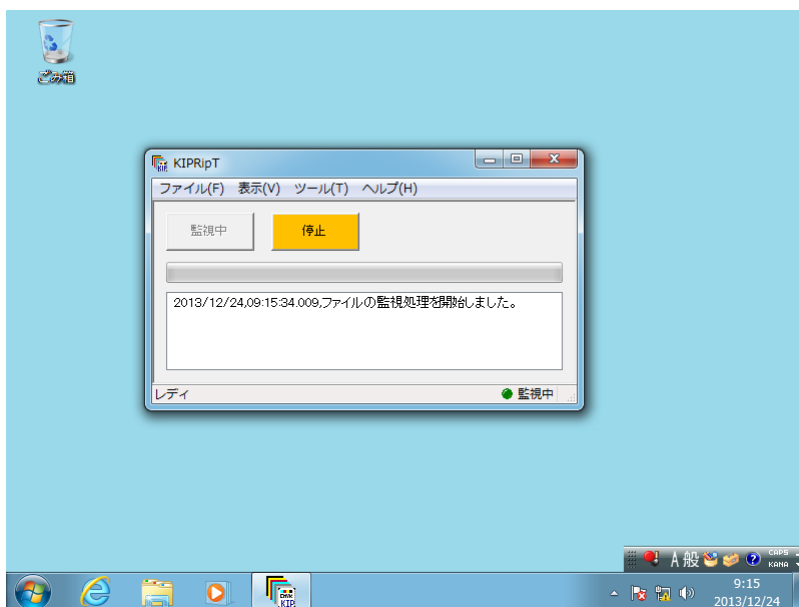
以上で、特色に対応したホットフォルダを設定する手順については終了です。

4.3.4 【設定】版数を指定したホットフォルダを設定する

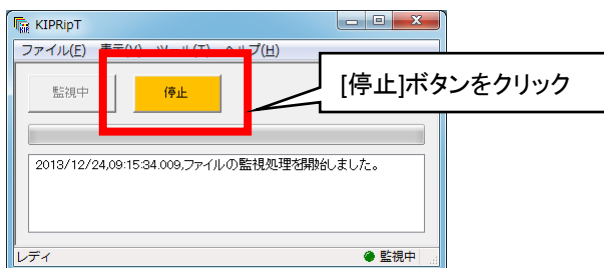
ここでは、版数を指定したホットフォルダを設定する手順について説明します。

KIPRipT は最大 8 版までまとめて処理することができます。しかし、運用によっては、「シアン+マゼンタ」や「マゼンタ+特色」など、印刷する版の色は違っても、版の数が固定となる場合があります。「版数」を指定することで、指定した版の数が揃った時点で処理を開始するようにホットフォルダを設定することができます。

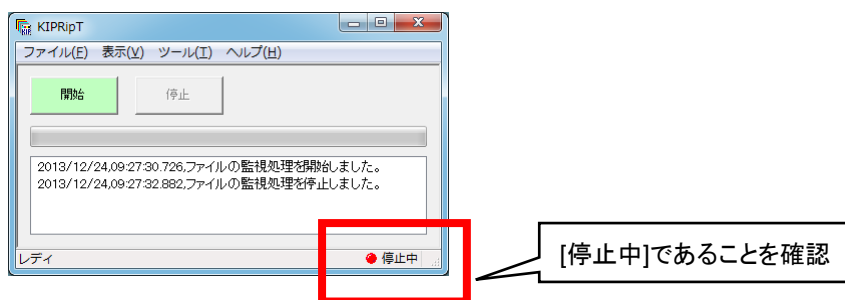
1. KIPRipT を起動します。



2. メインボタンの[停止]ボタンをクリックします。



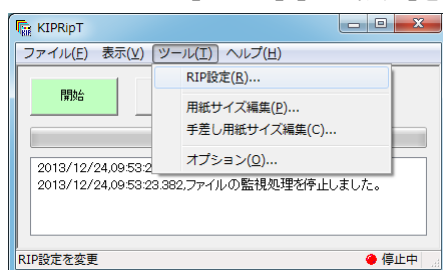
ステータスバーの表示が「停止中」になったことを確認します。



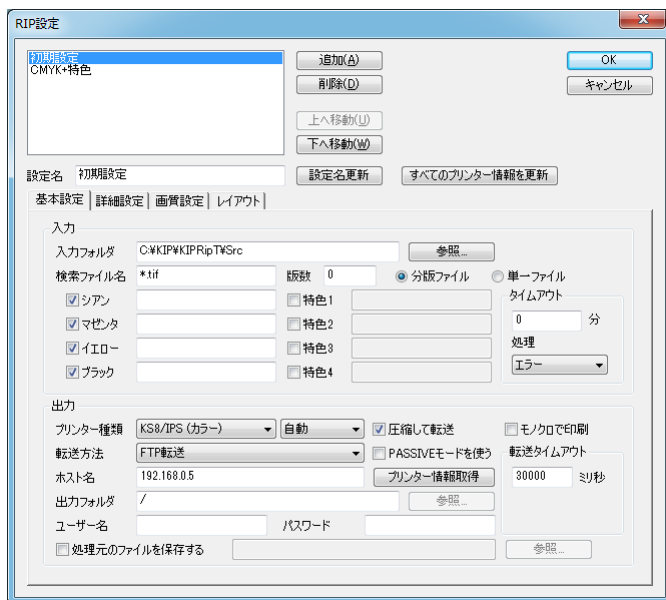
確認

「停止中」の状態では、ホットフォルダの監視を行いません。印刷を再開する場合は、[開始]ボタンをクリックします。

3. メニューバーから【ツール】-【RIP 設定】を選択します。



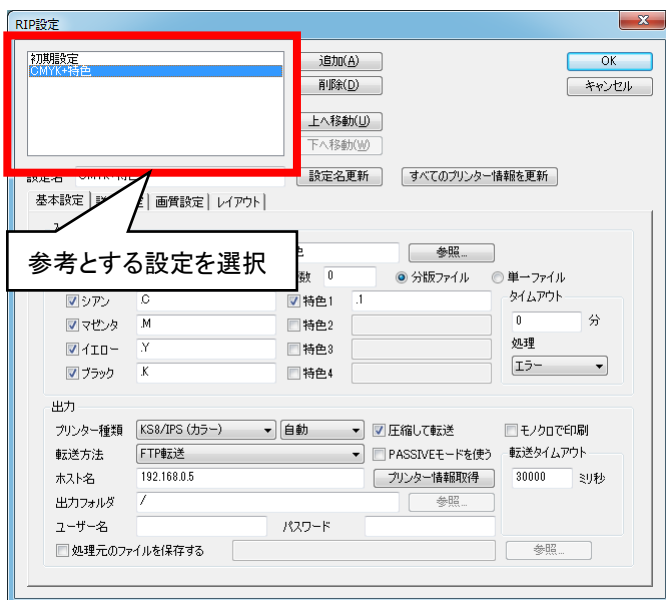
4. RIP 設定画面を表示しますので、運用に合わせて特色や版数の設定を行います。



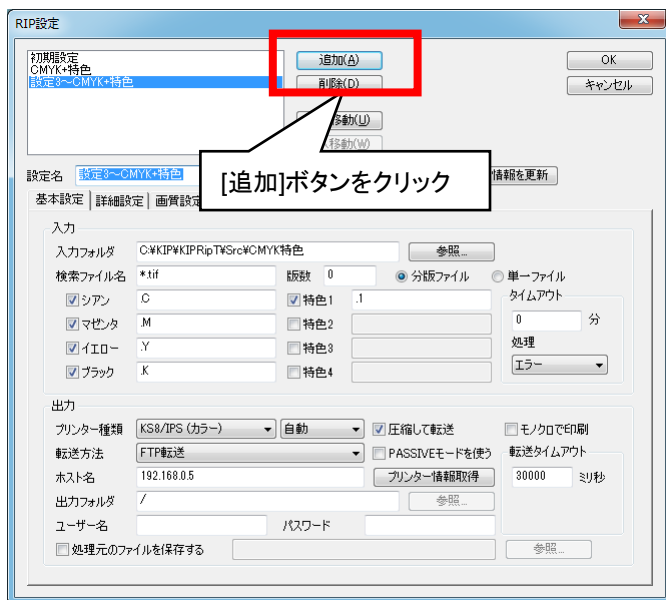
確認

設定項目の詳細については、後述の「5.3 「RIP 設定」画面の詳細」を参照してください。

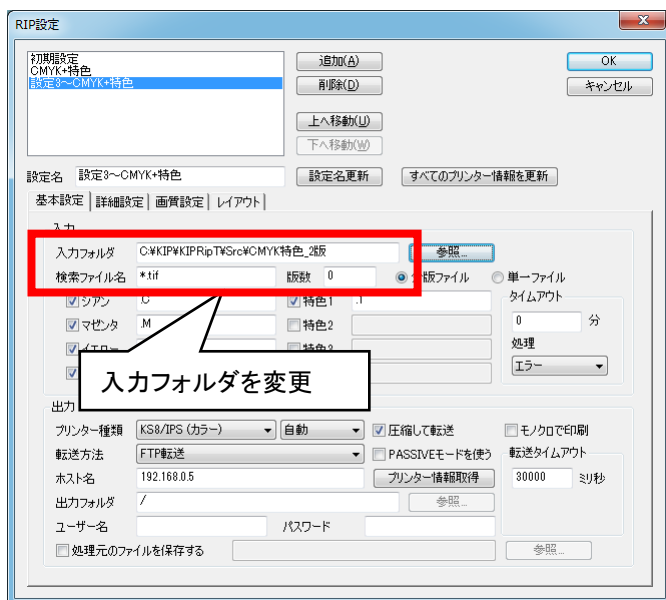
5. 設定リストから参考とする設定を選択します。



6. [追加]ボタンをクリックして、設定リストに新しい設定を追加します。

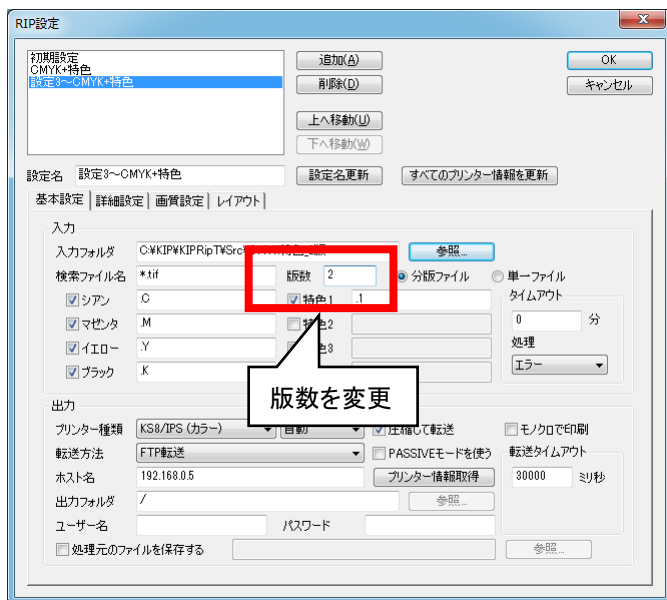


7. 「入力フォルダ」を変更します。



ここでは、「C:¥KIP¥KIPRipT¥Src¥CMYK 特色_2 版」とします。

8. 「版数」を変更します。

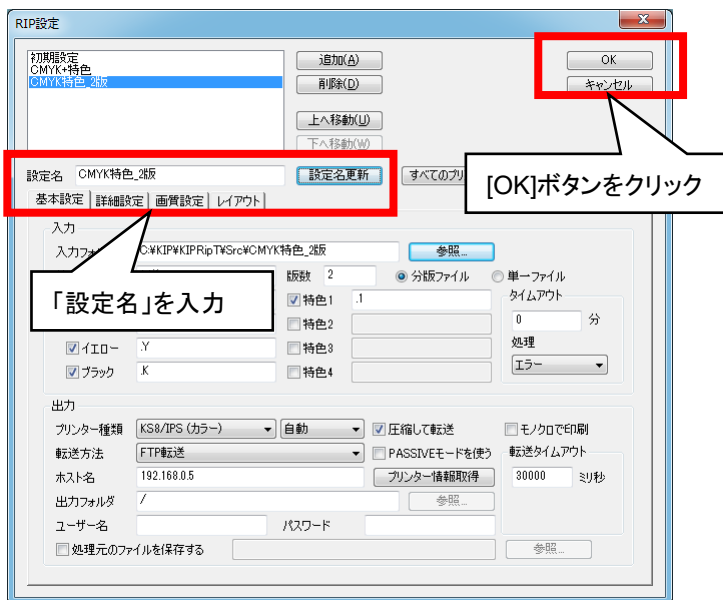


ここでは、2 版揃ったら処理を開始するように "2" を入力します。

9. 設定を更新します。

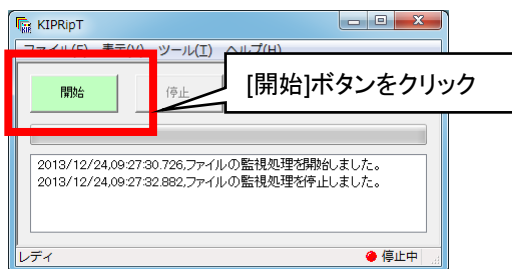
「設定名」を入力します。

[OK]ボタンをクリックして、RIP 設定画面を閉じます。

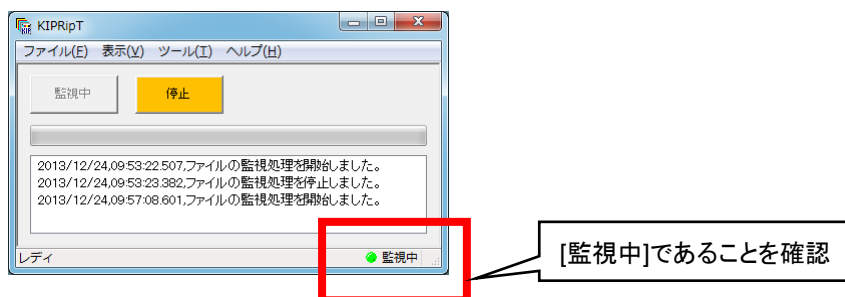


ここでは、"CMYK+特色_2 版" とします。

10. メインボタンの[開始]ボタンをクリックします。



ステータスバーの表示が「監視中」になったことを確認します。



11. TIFF ファイルの印刷を実行します。

手順については前述の「4.3.1 【印刷】TIFF ファイルを印刷する」を参照してください。

ここで、説明した設定内容では、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「ブラック」「特色 1」の何れか 2 版が揃った時点で処理を開始します。

処理するファイル名の例 1: ABCDE1.C.TIF
 ABCDE1.M.TIF

処理するファイル名の例 2: ABCDE2.M.TIF
 ABCDE2.1.TIF

設定した結果が反映されたことを確認します。

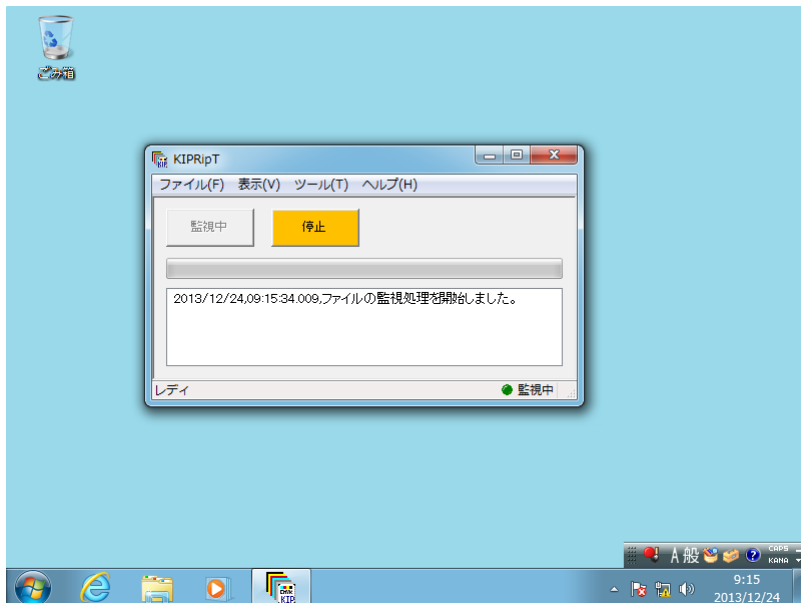
以上で、版数を指定したホットフォルダを設定する手順については終了です。

4.3.5 【設定】地色を指定したホットフォルダを設定する

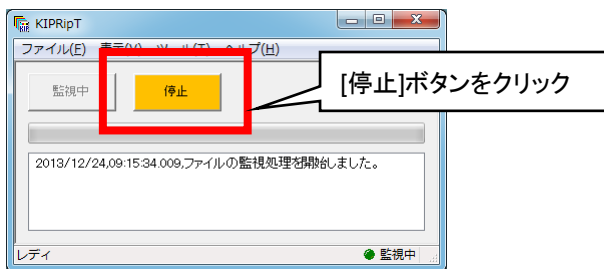
ここでは、地色を指定したホットフォルダを設定する手順について説明します。

新聞紙など印刷する用紙によって発色が異なります。地色を指定することで、KIPプリンター(カラー)から一段と印刷物に近い結果を得ることができます。

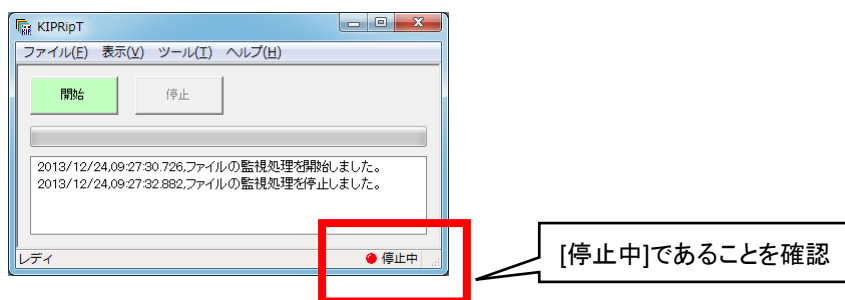
1. KIPRipT を起動します。



2. メインボタンの[停止]ボタンをクリックします。



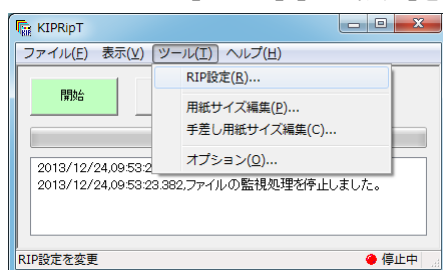
ステータスバーの表示が「停止中」になったことを確認します。



確認

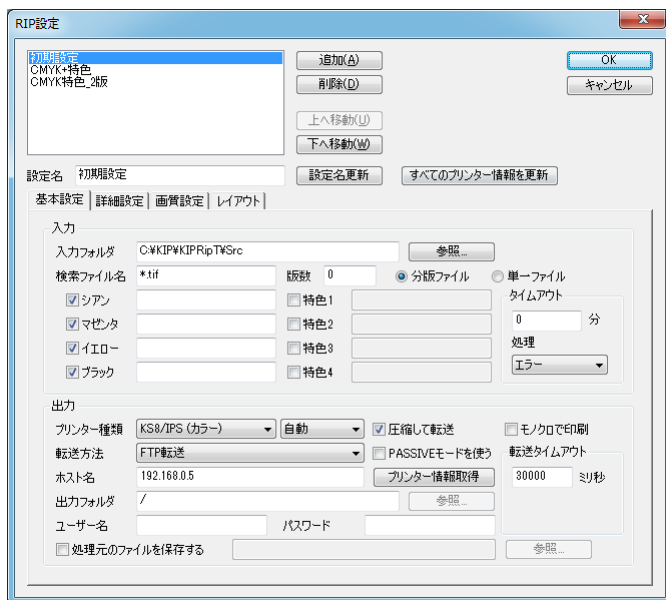
「停止中」の状態では、ホットフォルダの監視を行いません。印刷を再開する場合は、[開始]ボタンをクリックします。

3. メニューバーから【ツール】-【RIP 設定】を選択します。



第4章 基本操作

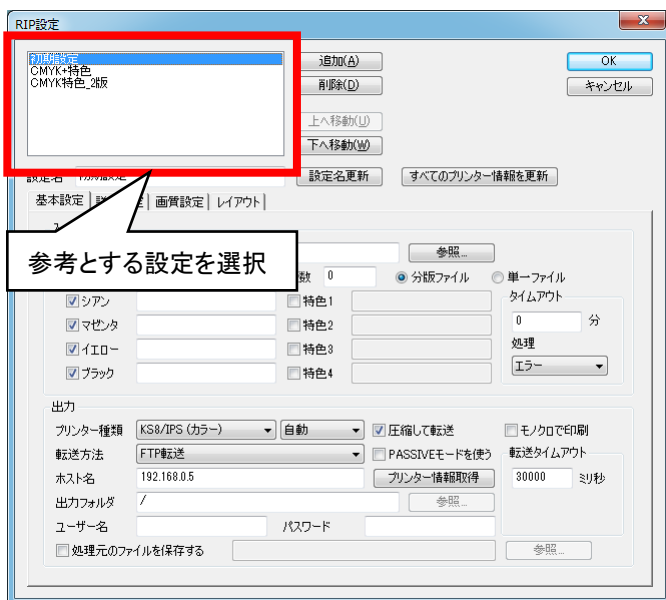
4. RIP 設定画面を表示しますので、運用に合わせて特色や版数、地色の設定を行います。



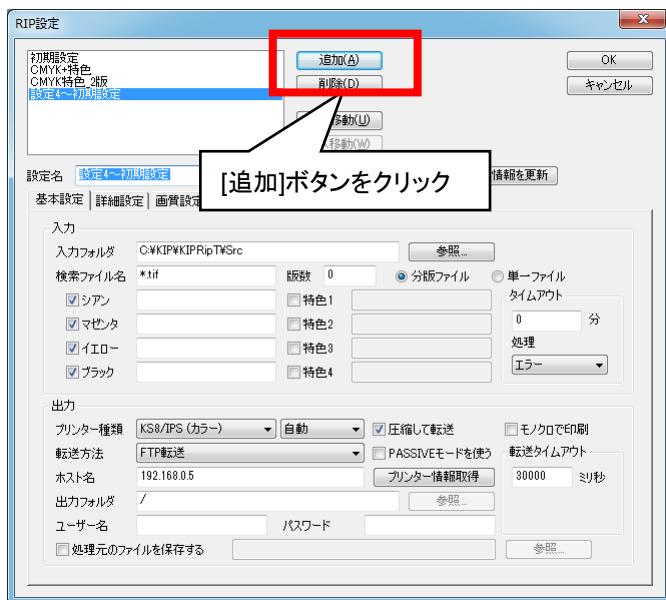
確認

設定項目の詳細については、後述の「5.3 「RIP 設定」画面の詳細」を参照してください。

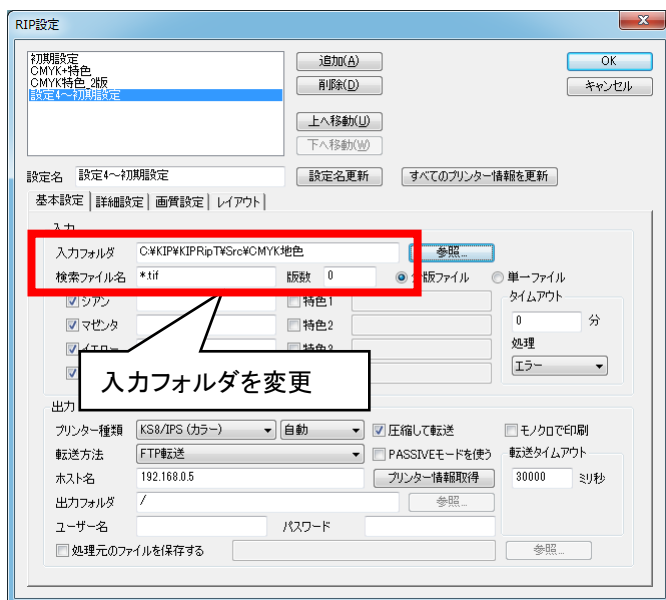
5. 設定リストから参考とする設定を選択します。



6. [追加]ボタンをクリックして、設定リストに新しい設定を追加します。

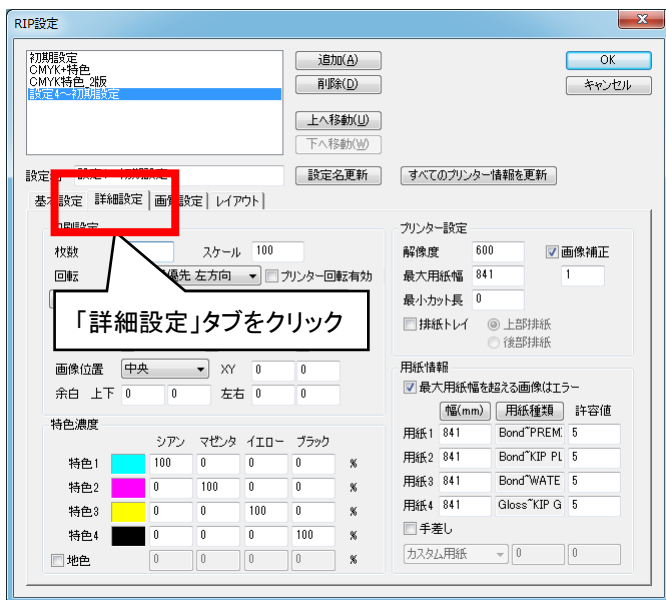


7. 「入力フォルダ」を変更します。

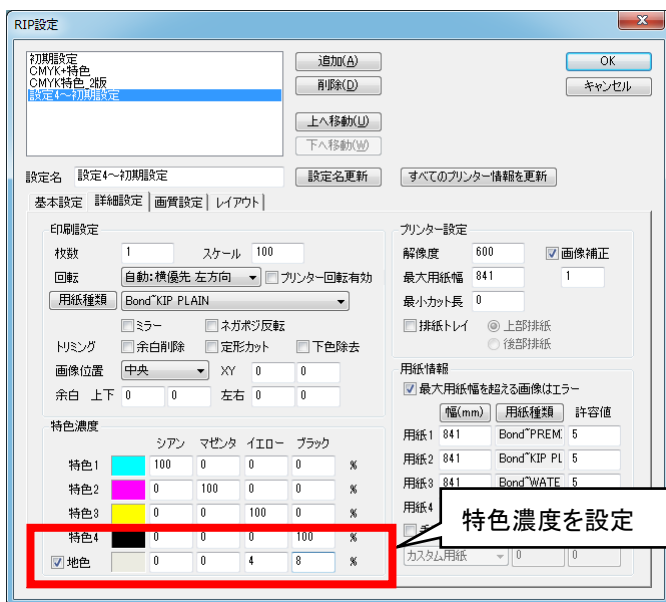


ここでは、「C:¥KIP¥KIPRipT¥Src¥CMYK¥地色」とします。

8. 「詳細設定」タブをクリックします。



9. 地色にチェックを付けて、地色の特色濃度を設定します。

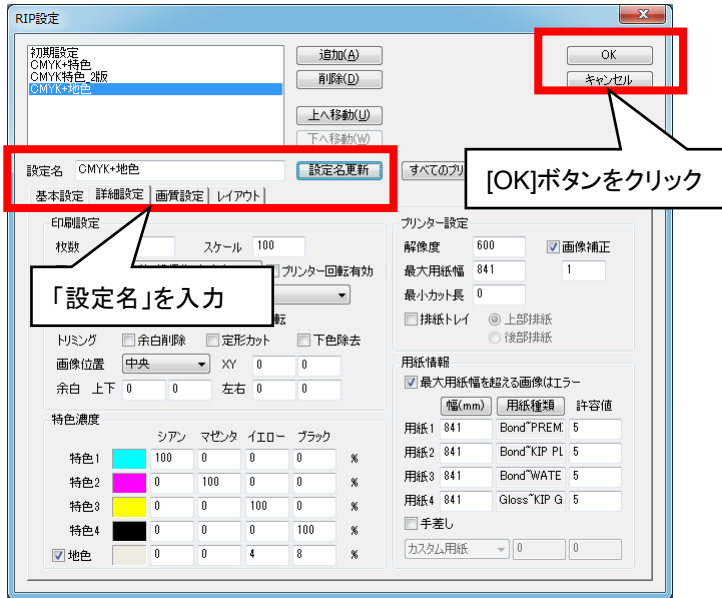


ここでは、新聞紙に近い結果を得るために、地色の濃度を「イエロー4%、ブラック8%」で設定します。

10. 設定を更新します。

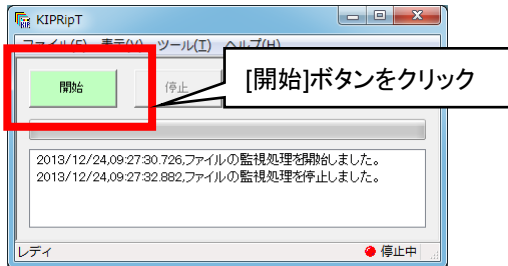
「設定名」を入力します。

[OK]ボタンをクリックして、RIP 設定画面を閉じます。

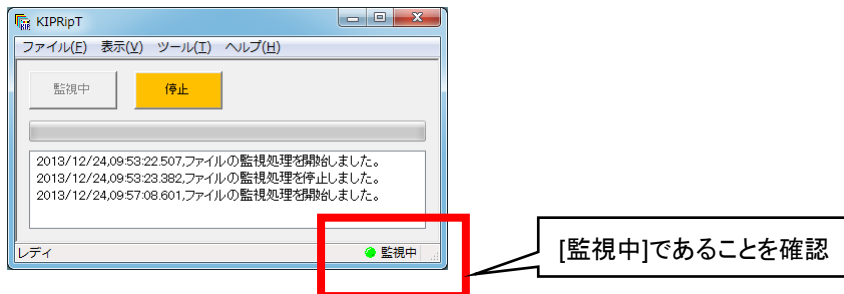


ここでは、「CMYK+地色」とします。

11. メインボタンの[開始]ボタンをクリックします。



ステータスバーの表示が「監視中」になったことを確認します。



12. TIFF ファイルの印刷を実行します。

手順については前述の「4.3.1 【印刷】TIFF ファイルを印刷する」を参照してください。

処理するファイル名の例: ABCDEF.C.TIF
ABCDEF.M.TIF
ABCDEF.Y.TIF
ABCDEF.K.TIF

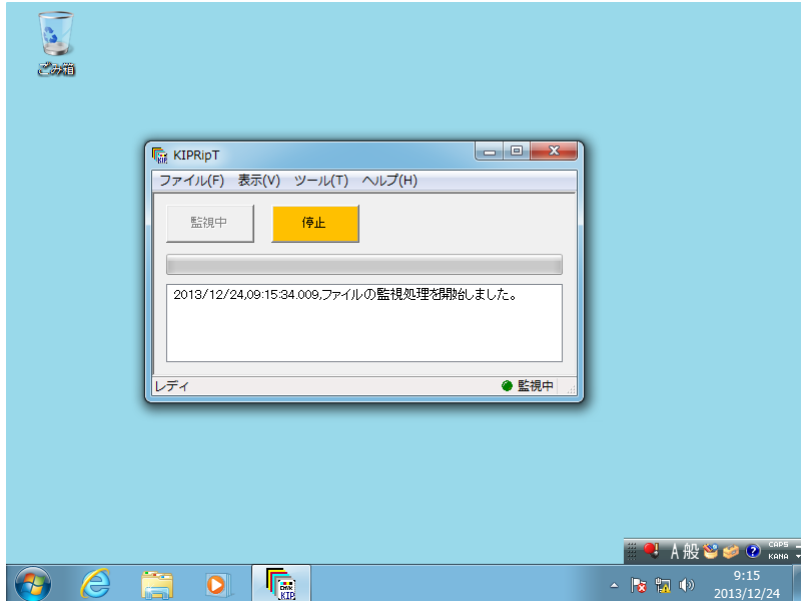
設定した結果が反映されたことを確認します。

以上で、地色を指定したホットフォルダを設定する手順については終了です。

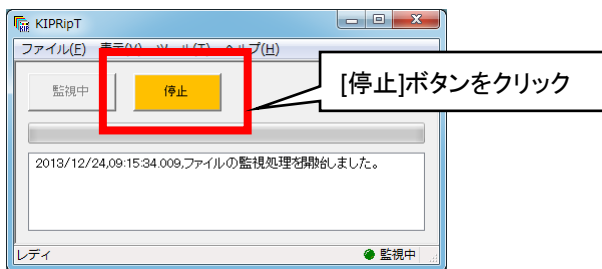
4.3.6 【設定】ヘッダー/フッターを指定したホットフォルダを設定する

ここでは、ヘッダー/フッターを指定したホットフォルダを設定する手順について説明します。ヘッダー/フッターを指定することで、印刷結果にファイル名や日時など、任意の文字列を印字することができます。

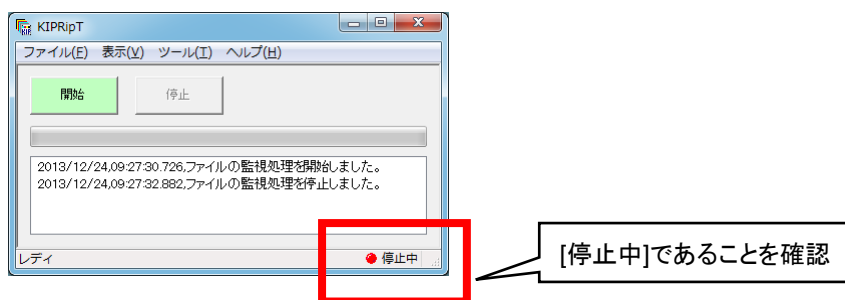
1. KIPRipT を起動します。



2. メインボタンの[停止]ボタンをクリックします。



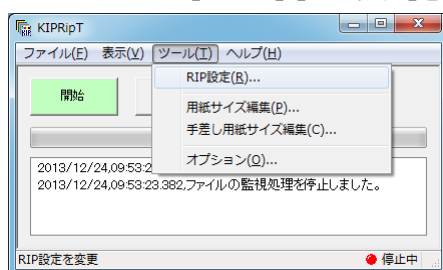
ステータスバーの表示が「停止中」になったことを確認します。



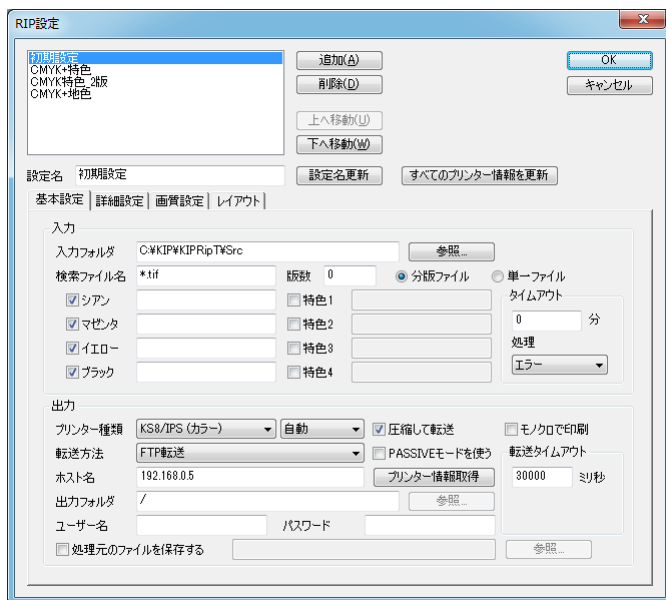
確認

「停止中」の状態では、ホットフォルダの監視を行いません。印刷を再開する場合は、[開始]ボタンをクリックします。

3. メニューバーから【ツール】-【RIP 設定】を選択します。



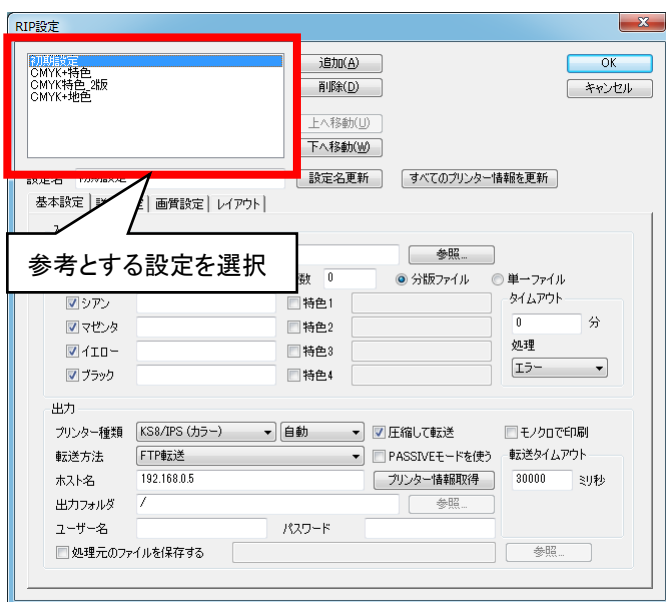
4. RIP 設定画面を表示しますので、運用に合わせてヘッダー/フッターの設定を行います。



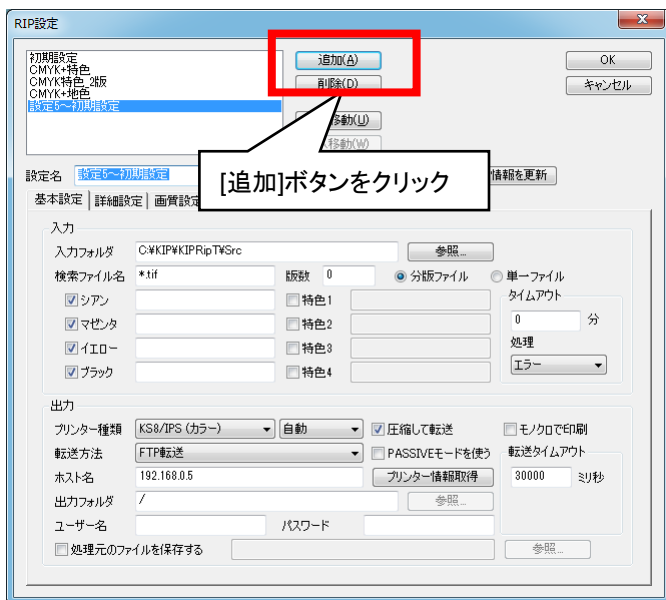
確認

設定項目の詳細については、後述の「5.3 「RIP 設定」画面の詳細」を参照してください。

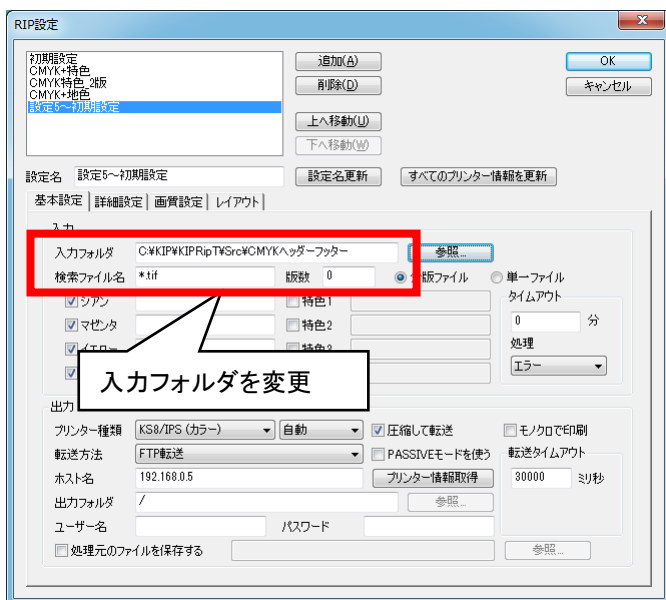
5. 設定リストから参考とする設定を選択します。



6. [追加]ボタンをクリックして、設定リストに新しい設定を追加します。

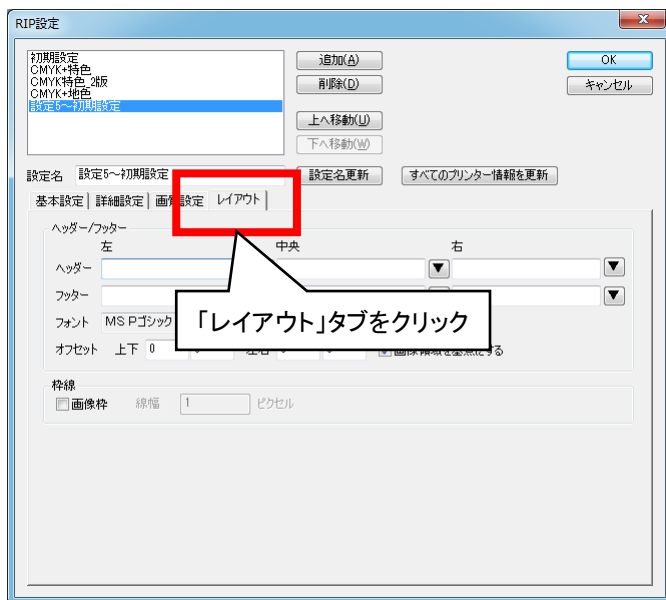


7. 「入力フォルダ」を変更します。

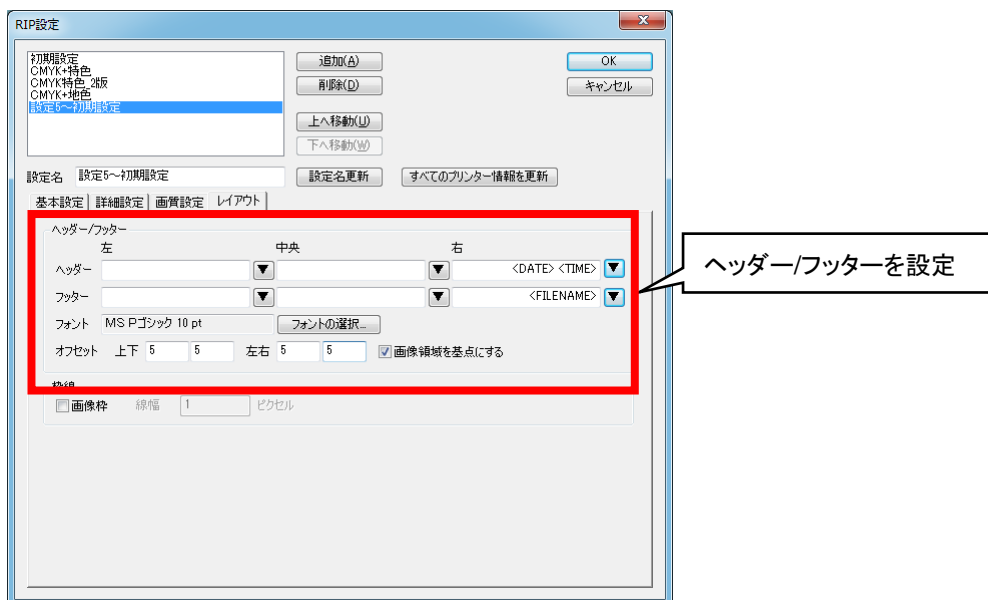


ここでは、「C:¥KIP¥KIPripT¥Src¥CMYK ヘッダーフッター」とします。

8. 「レイアウト」タブをクリックします。



9. 印字する内容に合わせてヘッダー/フッターを設定します。

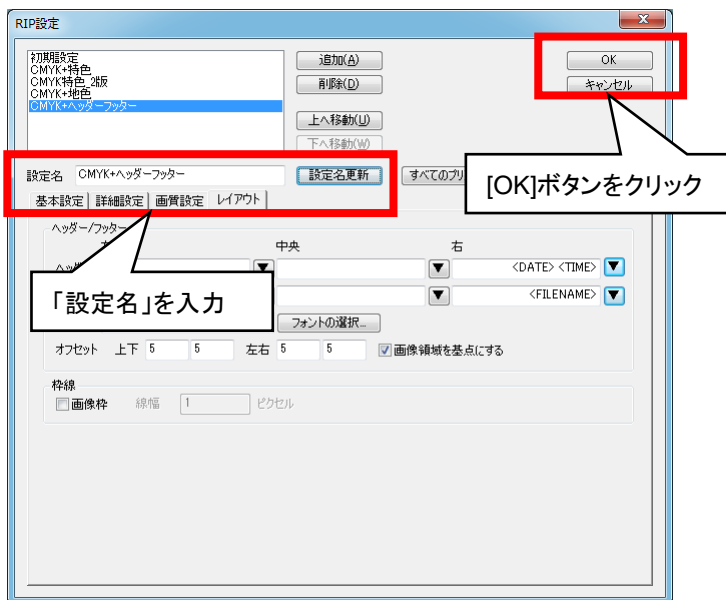


ここでは、右上に「日付」「時間」、右下に「ファイル名」を印字して、画像の領域を基点に上下左右 5mm 内側の位置に印字するように設定します。

10. 設定を更新します。

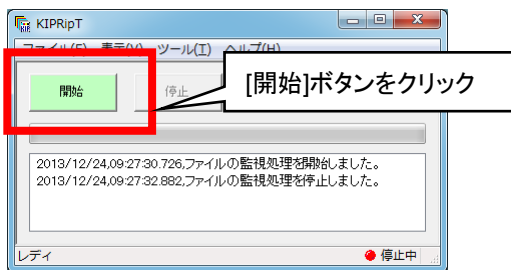
「設定名」を入力します。

[OK]ボタンをクリックして、RIP 設定画面を閉じます。

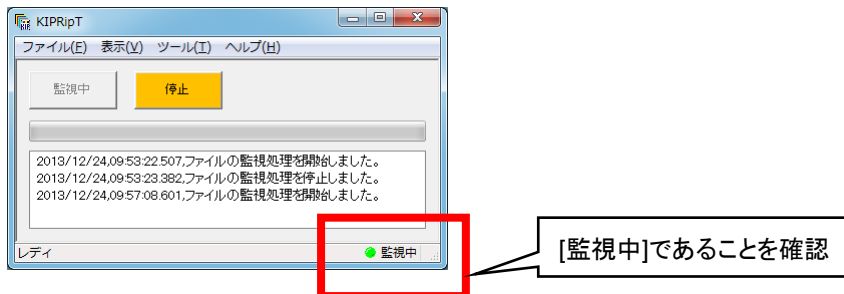


ここでは、「CMYK+ヘッダーフッター」とします。

11. メインボタンの[開始]ボタンをクリックします。



ステータスバーの表示が「監視中」になったことを確認します。

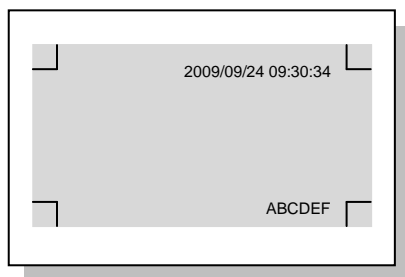


12. TIFF ファイルの印刷を実行します。

手順については前述の「4.3.1 【印刷】TIFF ファイルを印刷する」を参照してください。

処理するファイル名の例：
ABCDEF.C.TIF
ABCDEF.M.TIF
ABCDEF.Y.TIF
ABCDEF.K.TIF

設定した結果が反映されたことを確認します。

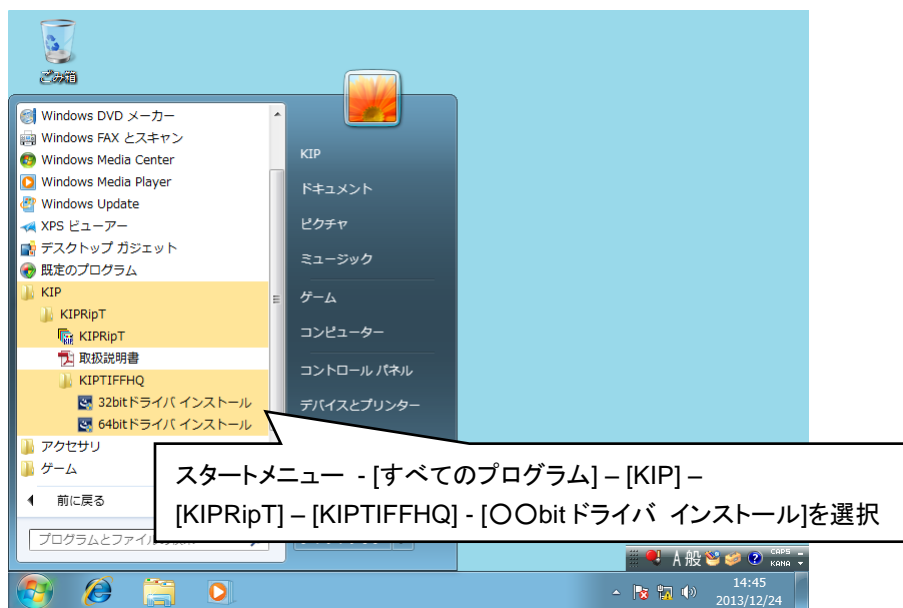


以上で、ヘッダー/フッターを指定したホットフォルダを設定する手順については終了です。

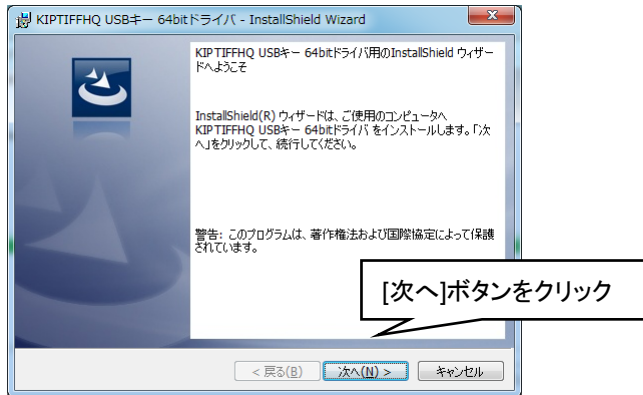
4.3.7 【設定】精細処理機能を指定したホットフォルダを設定する

ここでは、精細処理機能を指定したホットフォルダを設定する手順について説明します。精細処理を指定することで、独自アルゴリズムによる画像処理を行い、再現性の高い印刷結果を得ることができます。

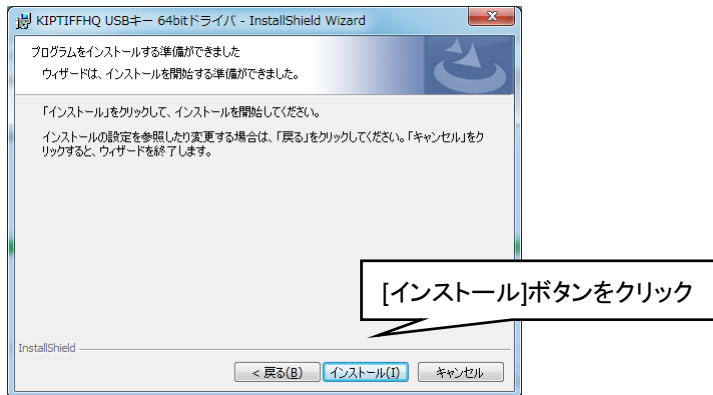
1. 「KIPTIFFHQ USB キードライバ」をインストールします。
KIPripT のインストール時に USB キードライバのインストールが完了している場合は、手順 2 に進みます。
 - 1-1. OS に合わせて、32bit ドライバまたは 64bit ドライバのインストールを実行します。
スタートメニューから [すべてのプログラム] - [KIP] - [KIPripT] - [KIPTIFFHQ] - [OObit ドライバ インストール]を選択します。



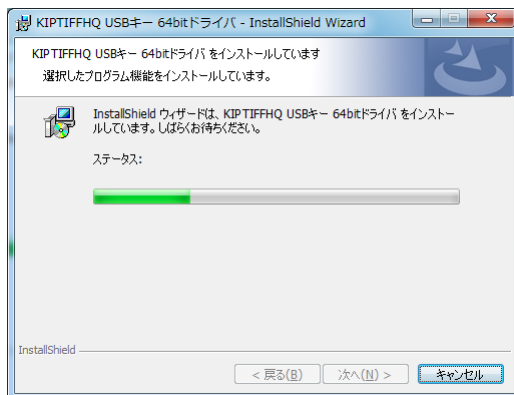
- 1-2. インストーラの初期画面を表示しますので、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



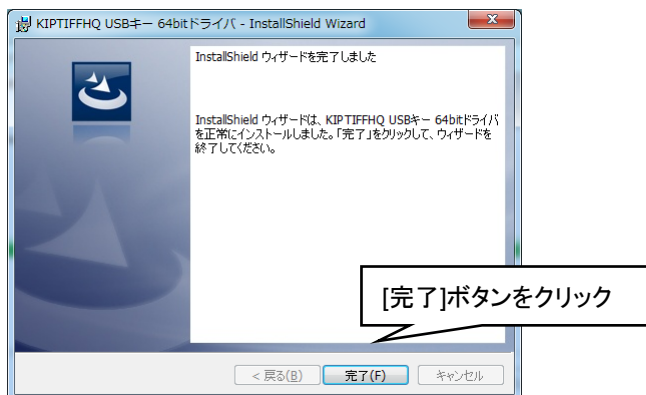
- 1-3. 「プログラムをインストールする準備ができました」画面を表示しますので、[インストール(I)]ボタンをクリックします。



- 1-4. ファイルのコピーが開始しますので、処理が完了するまで待機します。



- 1-5. インストール完了の画面を表示しますので、[完了(F)]ボタンをクリックします。



2. KIPTIFFHQ USB キーをコンピュータに接続します。
はじめて接続した場合は、「新しいハードウェアが見つかりました」と画面に表示して、自動的にインストールが完了します。

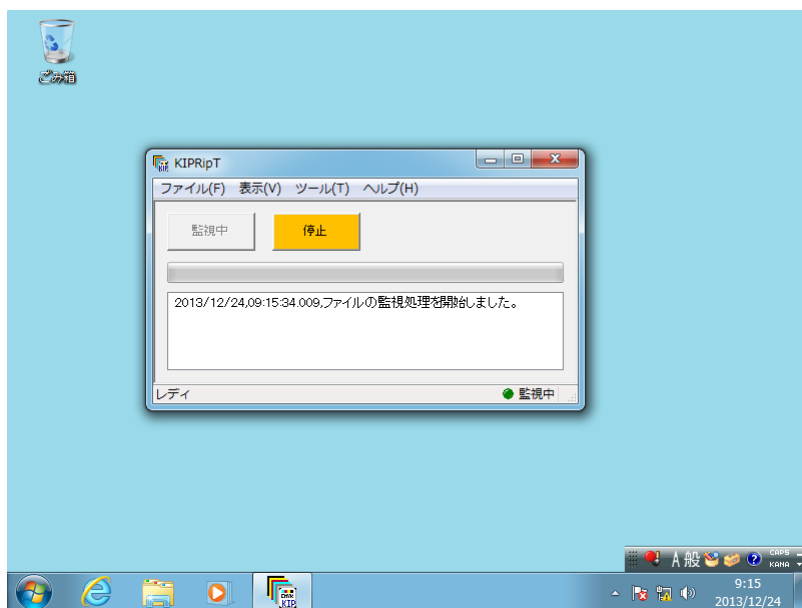


確認

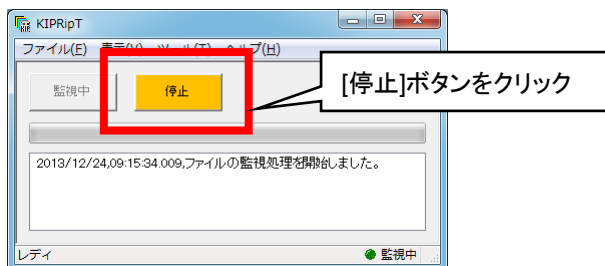
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、[キャンセル]ボタンを押してウィザードの画面を閉じて、手順 1 から「KIPTIFFHQ USB キードライバ」のインストールを行なってください。

手動で USB キードライバのインストールを行う場合は、KIPRipT のインストールフォルダ (C:¥KIP¥KIPRipT¥KIPTIFFHQ)に必要なファイルがありますので、そちらを使用してください。

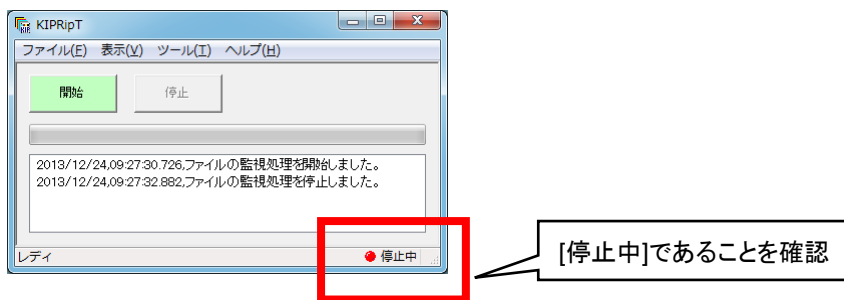
3. KIPRipT を起動します。



4. メインボタンの[停止]ボタンをクリックします。



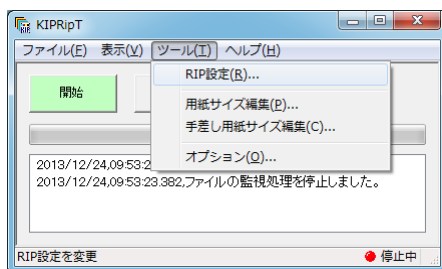
ステータスバーの表示が「停止中」になったことを確認します。



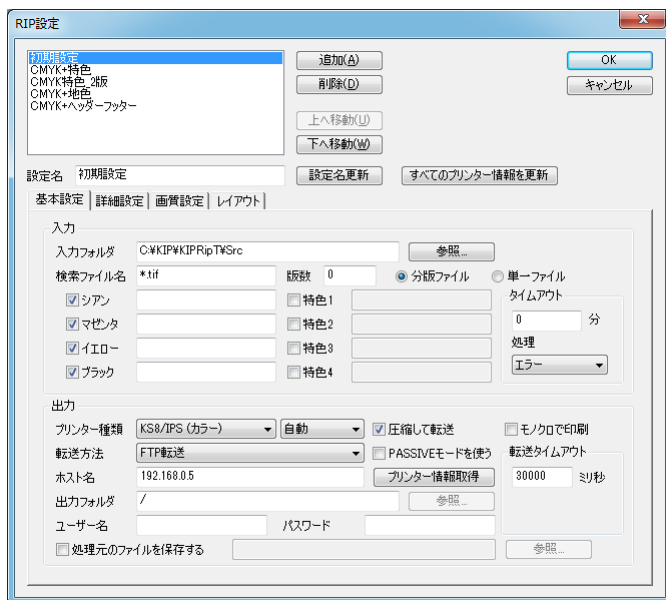
確認

「停止中」の状態では、ホットフォルダの監視を行いません。印刷を再開する場合は、[開始]ボタンをクリックします。

5. メニューバーから【ツール】-【RIP 設定】を選択します。



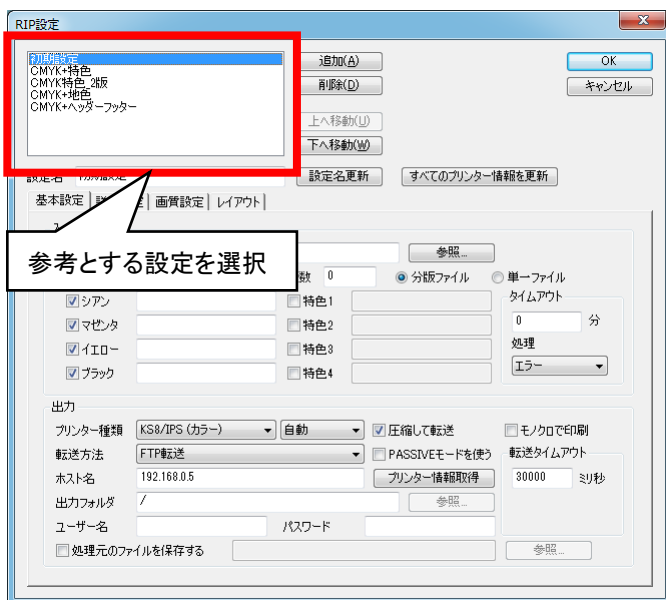
6. RIP 設定画面を表示しますので、運用に合わせて設定を行います。



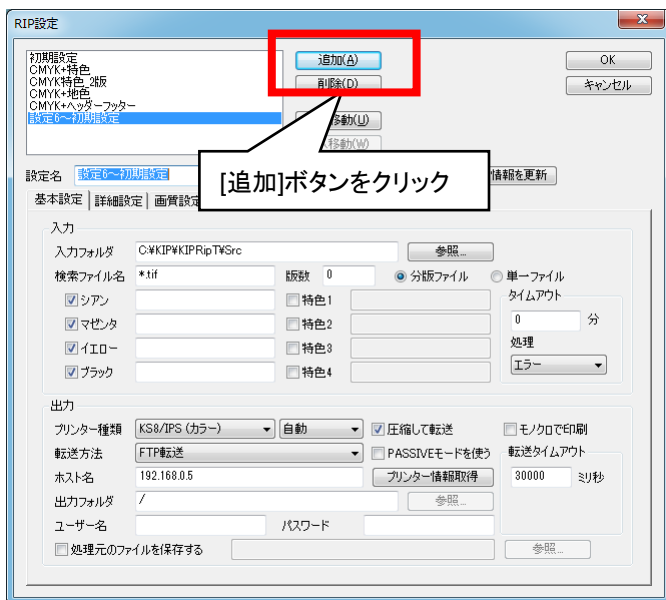
確認

設定項目の詳細については、後述の「5.3 「RIP 設定」画面の詳細」を参照してください。

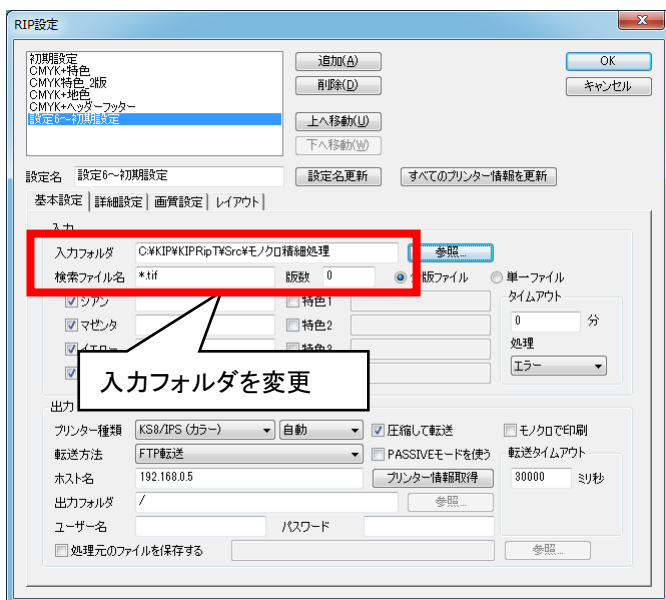
7. 設定リストから参考とする設定を選択します。



8. [追加]ボタンをクリックして、設定リストに新しい設定を追加します。

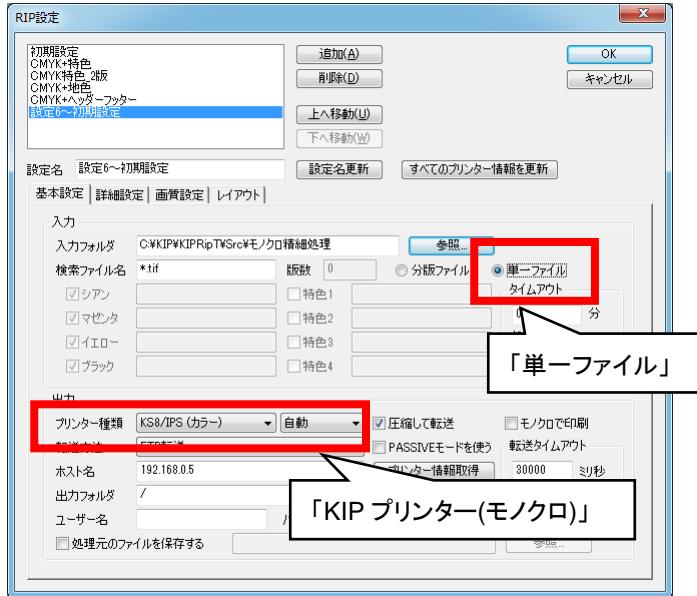


9. 「入力フォルダ」を変更します。



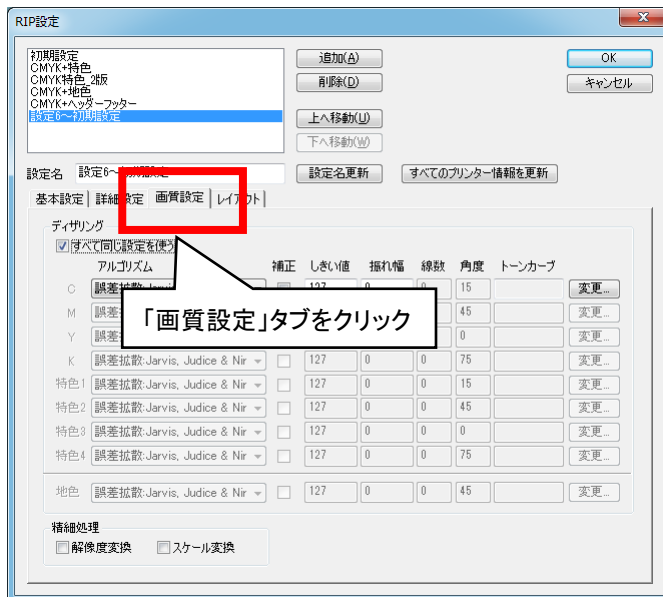
ここでは、「C:\¥KIP¥KIPripT¥Src¥モノクロ精細処理」とします。

10. プリンターに合わせて「基本設定」タブの設定を調整します。



ここでは、「単一ファイル」を選択して、プリンター種類を「KIP プリンター(モノクロ)」に調整しています。

11. 「画質設定」タブをクリックします。



12. 処理の内容に合わせて、精細処理を設定します。



ここでは、「解像度変換」と「スケール変換」にチェックを付けます。

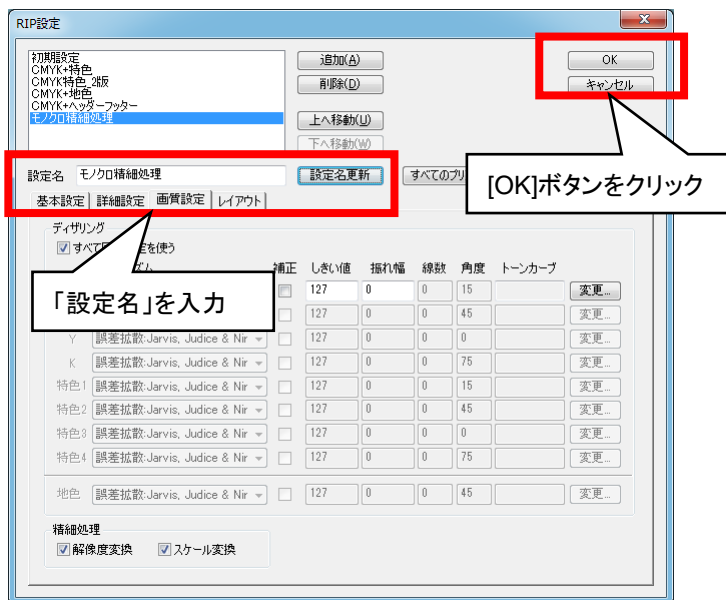
確認

精細処理の設定が無効になっている場合は、コンピュータが KIPTIFFHQ USB キーを正しく認識していない可能性があります。KIPRipT を終了して、コンピュータに USB キーが接続されているか、USB キードライバがインストールされているかを確認してください。

13. 設定を更新します。

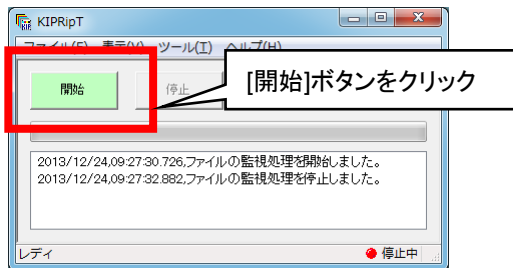
「設定名」を入力します。

[OK]ボタンをクリックして、RIP 設定画面を閉じます。

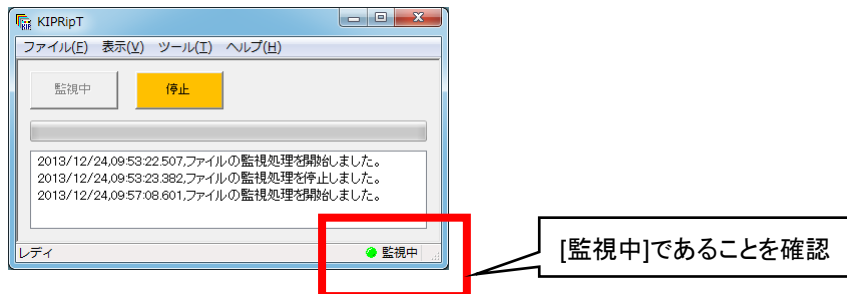


ここでは、「モノクロ精細処理」とします。

14. メインボタンの[開始]ボタンをクリックします。



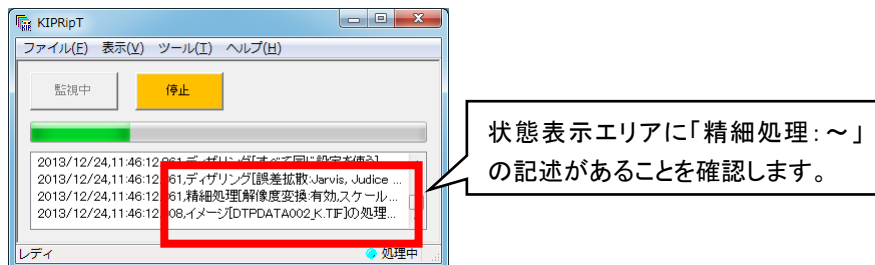
ステータスバーの表示が「監視中」になったことを確認します。



15. TIFF ファイルの印刷を実行します。

手順については前述の「4.3.1 【印刷】TIFF ファイルを印刷する」を参照してください。

設定した結果が反映されたことを確認します。

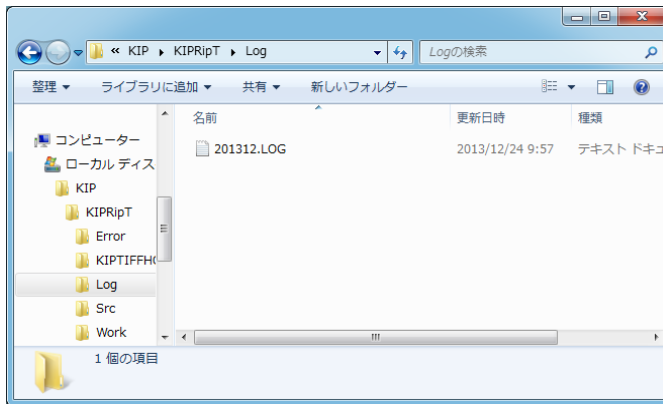


以上で、精細処理機能を指定したホットフォルダを設定する手順については終了です。

4.3.8 【ログ】処理の詳細を記録したログファイルを参照する

ここでは、印刷処理の詳細を記録したログファイルを確認する手順について説明します。ログファイルは月単位に作成され、日時、処理の過程、などを参照することができます。通常は参照する必要がありませんが、印刷処理のエラー頻度が高い場合やエラー原因が特定しにくい場合などに参照すると有効な情報が取得できる可能性があります。

1. エクスプローラでログファイルのフォルダを表示します。
初期値は“C:¥KIP¥KIPRipT¥Log”フォルダです。



ファイル名の書式は下記のとおりです。

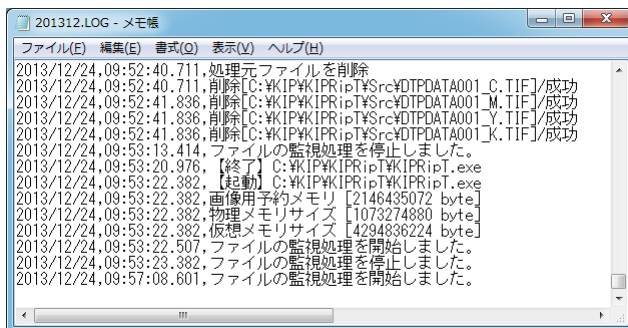
■ 書式

YYYYMM.LOG

YYYY: 西暦 4桁

MM: 月 2桁

2. テキストエディタなどを使用してログファイルを読み込みます。
<例: ログファイルをダブルクリックして、メモ帳で読み込み>



ログファイルの書式は下記のとおりです。

■ 書式

- ・ テキスト形式
- ・ 文字コードは「シフト JIS」または「UNICODE」（オプションの設定に依存）
- ・ メッセージ単位に 1 行で追記

■ 内容

【年月日】,【時間】,【メッセージ】

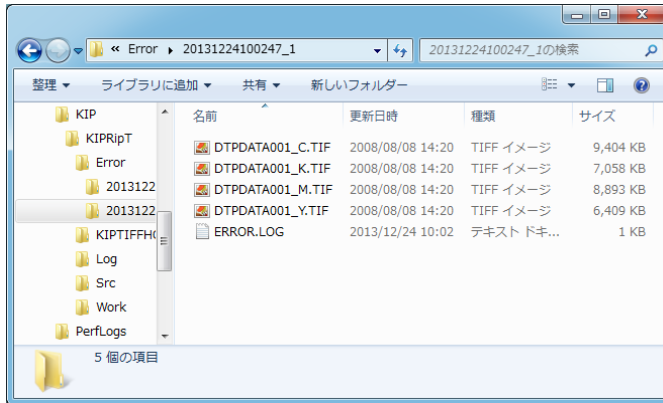
項目名	内容
【年月日】	処理した日付
【時間】	処理した時間
【メッセージ】	処理の詳細、書式は不定

以上で、処理の詳細を記録したログファイルを参照する手順については終了です。

4.3.9 【エラー処理】エラーになったファイルを参照する

ここでは、処理に失敗してエラーになったファイルを参照する手順について説明します。
エラーになったファイルは設定したエラーフォルダへ移動します。

1. エクスプローラでエラーフォルダを表示します。
初期値は “ C:¥KIP¥KIPRipT¥Error “ フォルダです。



エラーになったファイル単位にフォルダを作成します。
フォルダ名の書式は下記のとおりです。

■ 書式

YYYYMMDDhhmmss_n

YYYY:	西暦	4 桁
MM:	月	2 桁
DD:	日	2 桁
hh:	時	2 桁
mm:	分	2 桁
ss:	秒	2 桁
n:	RIP 設定番号	1 桁

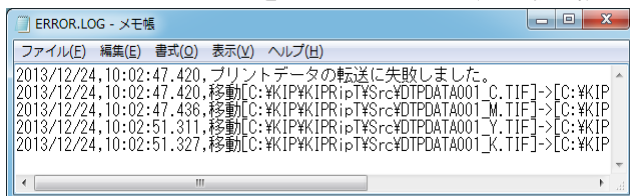
ファイルの構成は下記のとおりです。

■ 構成

ERROR.LOG: エラーの理由を記述したエラーログファイル
その他のファイル: エラーになったファイル

2. テキストエディタなどを使用してエラーの内容を確認します。

<例:エラーログファイルをダブルクリックして、メモ帳で読み込み>



3. ファイルの処理を決定します。

必要に応じてファイルを削除したり、ファイル形式を確認したり、再印刷を試みたりしてください。

確認

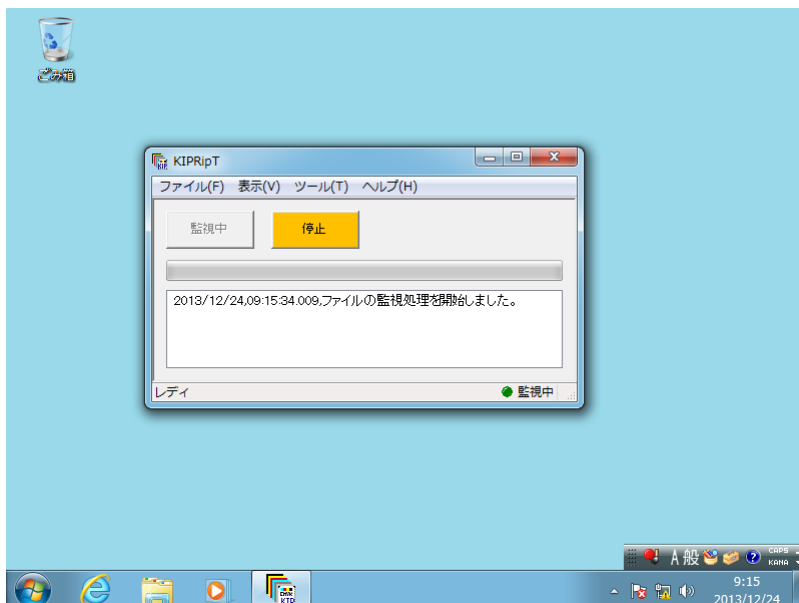
エラーフォルダは、「オプション」画面で設定した期間が経過すると自動的に削除されます。手動で削除する必要はありません。

以上で、エラーになったファイルを参照する手順については終了です。

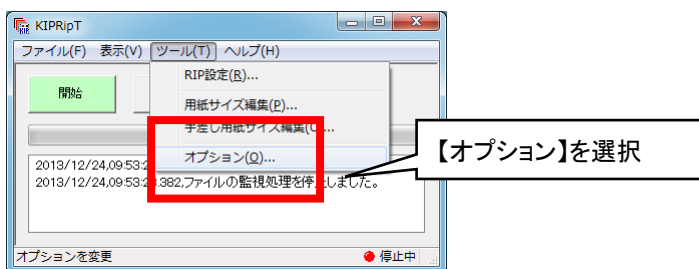
4.3.10 【その他】不要なファイルを自動的に削除する

ここでは、処理に失敗してエラーになったファイルや入力フォルダにある処理対象外のファイル、処理元保存フォルダにある不要なファイルを自動的に削除する手順について説明します。設定により一定の期間が経過した各ファイルを自動的に削除することができます。

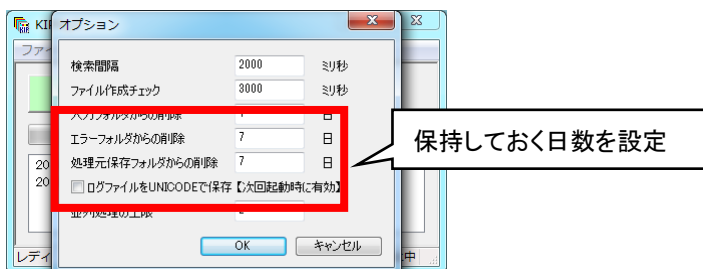
1. KIPRipT を起動します。



2. 「オプション」画面を表示します。
メニューバーから【ツール】-【オプション】を選択します。



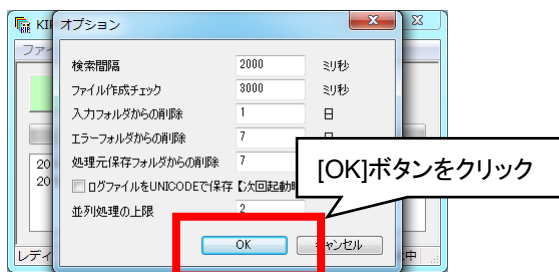
3. エラーフォルダや入力フォルダ、処理元保存フォルダに保持しておく日数を設定します。



入力フォルダからの削除	<p>入力フォルダに保持しておく日数を設定します。</p> <p>0 の場合： ファイルの削除は行いません。</p> <p>1 以上の場合： ファイルの更新日時と作成日時のうち、新しい方を参照して、設定した日数が経過したファイルを自動的にエラーフォルダに移動します。</p>
エラーフォルダからの削除	<p>エラーフォルダに保持しておく日数を設定します。</p> <p>0 の場合： ファイルの削除は行いません。</p> <p>1 以上の場合： ファイルの更新日時と作成日時のうち、新しい方を参照して、設定した日数が経過したファイルを自動的に削除します。</p>
処理元保存フォルダからの削除	<p>処理元保存フォルダに保持しておく日数を設定します。</p> <p>0 の場合： ファイルの削除は行いません。</p> <p>1 以上の場合： ファイルの更新日時と作成日時のうち、新しい方を参照して、設定した日数が経過したファイルを自動的に削除します。</p>

4. 設定を更新します。

[OK]ボタンをクリックして、オプション画面を閉じます。

**注意**

この設定で自動的にフォルダから削除されたファイルの記録は残りません。

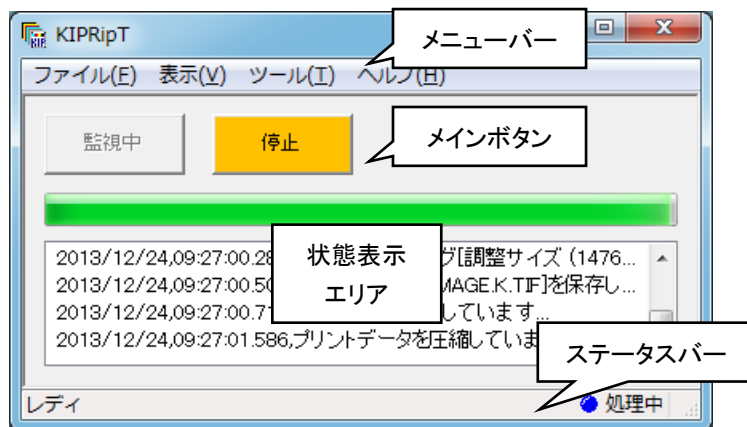
以上で、不要なファイルを自動的に削除する手順については終了です。

<空白ページ>

第5章 機能詳細

5.1 「メインウィンドウ」画面の詳細

ここでは、KIPRipT の「メインウィンドウ」画面の構成や機能の詳細について説明します。



5.1.1 メニューバー

KIPRipT の基本的な機能のメニューを表示します。

項目をクリックするとメニューがプルダウンして、コマンドの一覧が表示されます。

名称	説明
ファイル(F)	
アプリケーションの終了(X)	KIPRipT を終了します。
表示(V)	
ステータスバー(S)	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
ツール(T)	
オプション(O) ...	「オプション」画面を表示して、設定を変更します。
RIP 設定(R) ...	「RIP 設定」画面を表示して、設定を変更します。
用紙サイズ編集(P) ...	「用紙サイズ編集」画面を表示して、設定を変更します。
ヘルプ(H)	
バージョン情報(A)...	バージョン情報、および著作権を表示します。

5.1.2 メインボタン

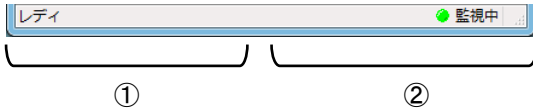
KIPRipT の基本的な機能を実行します。



ボタン名称	機能
[開始]	ホットフォルダの監視を開始します。 「監視中」の状態では、ボタンは無効になります。
[停止]	ホットフォルダの監視を停止します。 「停止中」の状態では、ボタンは無効になります。

5.1.3 ステータスバー

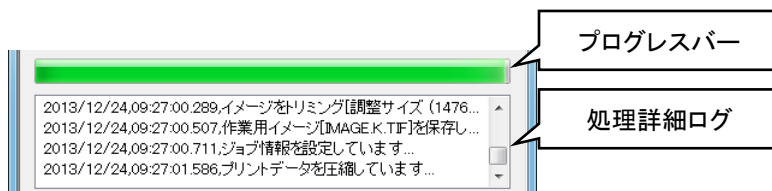
KIPRipT の状態や実行する操作の説明を表示します。



	名称	説明
①	メニューの説明	現在選択しているメニューの説明を表示します。
②	処理の状態	「監視中」「停止中」「処理中」のいずれかを表示します。

5.1.4 状態表示エリア

処理の詳細な状態を表示します。

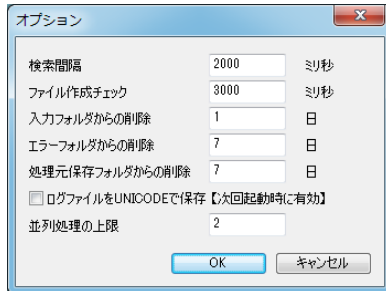


名称	説明
プログレスバー	処理の進行具合を表示します。
処理詳細ログ	処理の詳細な状態を文字列で表示します。 表示している内容は、ログファイルにも保存されます。

5.2 「オプション」画面の詳細

ここでは、「オプション」画面の構成や機能の詳細について説明します。

この画面は、メニューバーの【ツール】-【オプション】を選択することで表示します。



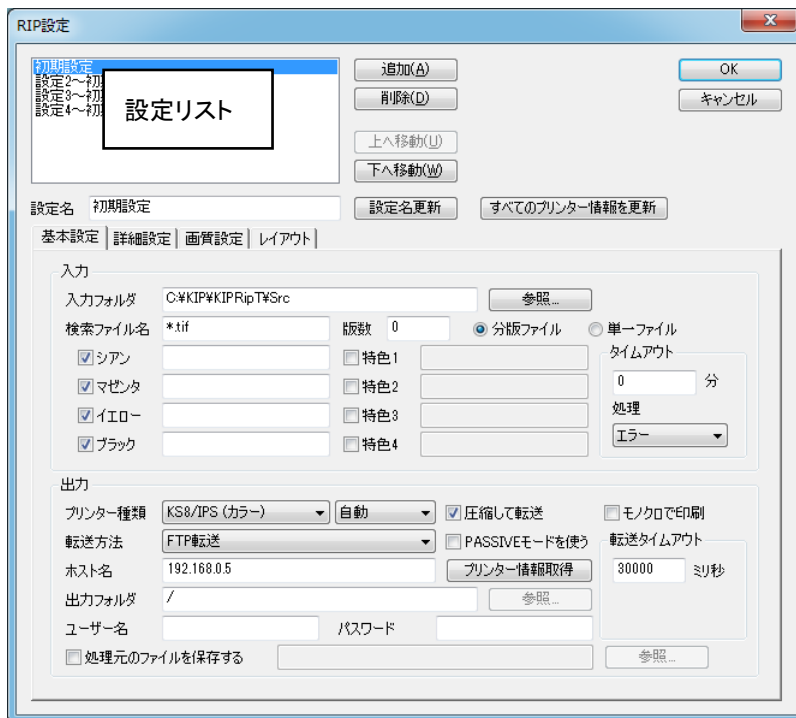
名称	機能
検索間隔	入力フォルダの検索間隔を設定します。(単位:ミリ秒) すべての入力フォルダを検索すると、設定された秒数待機します。
ファイル作成チェック	ファイルが作成されたとみなすまでの時間を設定します。(単位:ミリ秒) 指定した時間待機して、ファイルサイズに変化がなければ処理の対象として認識します。
入力フォルダからの削除	入力フォルダに保持する日数を設定します。 0の場合: ファイルの削除は行いません。 1以上の場合: ファイルの更新日時と作成日時のうち、新しい方を参照して、設定した日数が経過したファイルを自動的にエラーフォルダに移動します。
エラーフォルダからの削除	エラーフォルダに保持する日数を設定します。 0の場合: ファイルの削除は行いません。 1以上の場合: ファイルの更新日時と作成日時のうち、新しい方を参照して、設定した日数が経過したファイルを自動的に削除します。
処理元保存フォルダからの削除	処理元保存フォルダに保持する日数を設定します。 0の場合: ファイルの削除は行いません。 1以上の場合: ファイルの更新日時と作成日時のうち、新しい方を参照して、設定した日数が経過したファイルを自動的に削除します。
ログファイルをUNICODEで保存	ログファイル、エラーログファイルの文字コードを設定します。 チェックを付けた場合、文字コードはUNICODEになります。 チェックを外した場合、文字コードはシフトJISになります。
並列処理の上限	分版ファイルの場合に並列で行う画像処理の上限を設定します。
[OK]	設定した内容で更新して、「オプション」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「オプション」画面を閉じます。

5.3 「RIP 設定」画面の詳細

ここでは、「RIP 設定」画面の構成や機能の詳細について説明します。

この画面は、メニューバーの【ツール】-【RIP 設定】を選択することで表示します。

ホットフォルダとフォルダ単位の処理方法を設定します。



名称	機能
設定リスト	登録したホットフォルダのリストを表示します。 表示している順番にホットフォルダの監視を行います。
[追加]	新規に「設定リスト」に追加します。表示中の設定で初期化します。
[削除]	「設定リスト」で選択しているホットフォルダをリストから削除します。
[上へ移動]	「設定リスト」で選択しているホットフォルダの位置を上へ移動します。
[下へ移動]	「設定リスト」で選択しているホットフォルダの位置を下へ移動します。
設定名	ホットフォルダの設定名を指定します。
[設定名更新]	設定した内容で設定名を更新します。
基本設定/詳細設定	表示する設定画面を切り替えます。
[OK]	設定した内容で更新して、「RIP 設定」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「RIP 設定」画面を閉じます。

5.3.1 基本設定

ホットフォルダの基本的な機能を設定します。

名称	機能	
入力	入力に関する情報を指定します。	
入力フォルダ	監視する入力フォルダ名を指定します。下記のいずれかを指定します。	
	ローカルドライブまたはネットワークドライブ	ドライブ名 (X:¥~) から始まるフォルダ名 <例> N:¥DATA¥. . . など
	SMB ネットワーク共有フォルダ	UNC 名 (¥¥~) から始まるフォルダ名 <例> ¥¥HOST¥SHARE¥DATA. . . など
	入力ボックスの右にある[参照]ボタンをクリックすると「フォルダを開く」画面を表示しますので、フォルダを選択して指定することも可能です。	
検索ファイル名	検索するファイル名を指定します。ワイルドカード(*,?)を含む名称を指定します。 通常は “*.TIF” を指定してください。	
版数	処理を開始する版数を指定します。 0 を指定した場合は、対象ファイルでチェックを付けた版がすべて揃ったら開始します。 1~8 を指定した場合は、対象ファイルで指定した版数が揃った時点で開始します。 1 つのホットフォルダで、CM 版や CK 版などの処理が可能です。	

名称		機能	
分版ファイル		<p>「2.3 ファイル名書式」と「対象ファイル」の設定に従って、ファイルを検索します。</p> <p>主に「プリンター種類」が”KIP プリンター(カラー)”の場合に指定します。</p> <p>「プリンター種類」が”KIP プリンター(モノクロ)”,”Starprint シリーズ”の場合は処理の対象になったすべての版を1つに重ね合わせて印刷します。</p>	
単一ファイル		<p>「検索ファイル名」に指定した名称に従って、ファイルを検索します。</p> <p>主に「プリンター種類」が”KIP プリンター(モノクロ)”,”Starprint シリーズ”の場合に指定します。</p>	
対象ファイル		<p>プリンターから印刷する色を指定します。</p> <p>チェックを付けた版名を検索の対象とします。</p>	
	シアン	<p>任意の版名を指定することが可能です。ワイルドカード(“?”)による指定も可能です。(“*”を指定した場合は“?”に置き換わります。)</p> <p>複数の版名を指定する場合は、カンマ“,”で区切って入力します。</p> <p><例> _C,_Cyan,_??Cyan</p> <p><例> _1,_DIC181</p>	
	マゼンタ		
	イエロー		
	ブラック		
	特色 1		
	特色 2		
	特色 3		
	特色 4		
タイムアウト		<p>すべての版が揃うまでの待機時間を設定します。(単位:分)</p> <p>0を指定した場合は、タイムアウトの処理を行いません。</p>	
処理	<p>ファイルが揃わない場合の処理を設定します。</p> <p>下記のいずれかを指定します。</p>		
	エラー	エラーとしてファイルを処理します。	
	そのまま印刷	見つかった版のみをそのまま印刷します。	

名称	機能	
出力	出力に関する情報を指定します。	
プリンター種類	転送先プリンターの種類を指定します。下記のいずれかを指定します。 「KS8/IPS (カラー)」「KS8/IPS (モノクロ)」を指定した場合は、コントローラのバージョンの指定が可能です。通常は「自動」	
	System K (カラー)	カラープリンター
	System K (モノクロ)	モノクロプリンター
	KS8/IPS (カラー)	カラープリンター
	KS8/IPS (モノクロ)	モノクロプリンター
	Starprint シリーズ	モノクロプリンター
	ファイル転送のみ	画像処理を行わないファイル転送
圧縮して転送	チェックを付けた場合、プリントデータを ZIP 圧縮して転送します。 チェックを外した場合、プリントデータを ZIP 圧縮せずに転送します。 プリンター種類で「KIP プリンター(カラー)」「KIP プリンター(モノクロ)」を指定した場合に有効です。	
モノクロで印刷	チェックを付けた場合、プリントデータをモノクロで作成します。 チェックを外した場合、プリントデータをカラーで作成します。 プリンター種類で「KIP プリンター(カラー)」を指定した場合に有効です。 プリンターが KIP c7800 の場合に効果のある設定です。	
転送方法	プリントデータの転送方法を指定します。下記のいずれかを指定します。	
	ローカルドライブまたはネットワークドライブ	ドライブ名(X:¥~)で指定可能なフォルダへの転送
	共有フォルダ	UNC名(¥¥~)で指定可能なフォルダへの転送
	FTP 転送	FTP プロトコルでの転送
PASSIVE モードを使う	通常はチェックを外してください。 チェックを付けた場合、PASSIVE モードでデータを転送します。 チェックを外した場合、標準モードでデータを転送します。(PORTまたはアクティブと呼ばれます。) 転送方法で「FTP 転送」を指定した場合に有効です。	
転送タイムアウト	プリントデータの転送が失敗した判断するまでの待機時間を設定します。 (単位:ミリ秒) 転送方法で「FTP 転送」を指定した場合に有効です。	
ホスト名	転送先プリンターのホスト名または IP アドレスを指定します。 転送方法で「共有フォルダ」「FTP 転送」を指定した場合に有効です。	
[プリンター情報取得]	クリックすると用紙情報をプリンターから取得して、詳細設定の用紙種類、用紙情報を更新します。 プリンター種類で「KIP プリンター(カラー)」「KIP プリンター(モノクロ)」を指定して、KIP Request をインストールしている場合に有効です。	

名称	機能	
出力フォルダ	プリントデータの転送先を指定します。転送方法の設定によって記述が異なります。	
	ローカルドライブまたはネットワークドライブ	ドライブ名 (X:¥~) から始まるフォルダ名 ＜例＞ N:¥DATA¥... など
	共有フォルダ	共有名から始まるフォルダ名 ＜例＞ SHARE¥DATA... など
	FTP 転送	ディレクトリ名 ＜例＞ /Auto/Direct など
	「ローカルドライブまたはネットワークドライブ」「共有フォルダ」の場合は、入力ボックスの右にある[参照]ボタンをクリックすると「フォルダを開く」画面を表示しますので、フォルダを選択して指定することも可能です。	
ユーザー名	転送先プリンターに接続するためのユーザー名を指定します。転送方法で「共有フォルダ」「FTP 転送」を指定した場合に有効です。空欄の場合は、プリンター種類に応じたデフォルトのユーザー名で接続します。	
パスワード	転送先プリンターに接続するためのパスワードを指定します。転送方法で「共有フォルダ」「FTP 転送」を指定した場合に有効です。入力した内容は、すべて"*"で表示します。空欄の場合は、プリンター種類に応じたデフォルトのパスワードで接続します。	
処理元のファイルを保存する	チェックを付けた場合、処理が正常に完了した後で、処理元のファイルを設定したフォルダにコピーします。チェックを外した場合、処理元のファイルはコピーしません。処理元のファイルを保存するフォルダ名を指定します。下記のいずれかを指定します。	
	ローカルドライブまたはネットワークドライブ	ドライブ名 (X:¥~) から始まるフォルダ名 ＜例＞ N:¥DATA¥... など
	SMB ネットワーク共有フォルダ	UNC 名 (¥¥~) から始まるフォルダ名 ＜例＞ ¥¥HOST¥SHARE¥DATA... など
	入力ボックスの右にある[参照]ボタンをクリックすると「フォルダを開く」画面を表示しますので、フォルダを選択して指定することも可能です。	

5.3.2 詳細設定

ホットフォルダの詳細な機能を設定します。

基本設定 | 詳細設定 | 画質設定 | レアウト

印刷設定

枚数 スケール

回転 プリンター回転有効

用紙種類

ミラー ネガボジ反転

トリミング 余白削除 定形カット 下色除去

画像位置 XY

余白 上下 左右

特色濃度

	シアン	マゼンタ	イエロー	ブラック	
特色1	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	%
特色2	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	%
特色3	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="0"/>	%
特色4	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="100"/>	%
<input type="checkbox"/> 地色	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	%

プリンター設定

解像度 画像補正

最大用紙幅

最小カット長

排紙トレイ 上部排紙 後部排紙

用紙情報

最大用紙幅を超える画像はエラー

幅(mm) 用紙種類 許容値

用紙1	841	Bond^PREM	5
用紙2	841	Bond^KIP PL	5
用紙3	841	Bond^WATE	5
用紙4	841	Gloss^KIP G	5

手差し

カスタム用紙

名称	機能	
印刷設定	印刷に関する情報を指定します。	
枚数	印刷する枚数を指定します。1～999 の値を指定します。	
スケール	印刷の倍率を指定します。5.0～400.0 の値を指定します。(単位は%)	
回転	イメージの回転角度を指定します。	
	自動の場合は、用紙情報とイメージの用紙サイズを参照して回転角度を決定します。	
	0°	回転せずに印刷します。
	左 90°	左に 90° 回転して印刷します。
	180°	180° 回転して印刷します。
	右 90°	右に 90° 回転して印刷します。
	自動:横優先 左方向	横置き優先で印刷されるように左回転します。
	自動:縦優先 左方向	縦置き優先で印刷されるように左回転します。
	自動:横優先 右方向	横置き優先で印刷されるように右回転します。
	自動:縦優先 右方向	縦置き優先で印刷されるように右回転します。
	横置き 左方向	横置きで印刷されるように左回転します。
	縦置き 左方向	縦置きで印刷されるように左回転します。
	横置き 右方向	横置きで印刷されるように右回転します。
縦置き 右方向	縦置きで印刷されるように右回転します。	

名称		機能									
プリンター回転有効		チェックを付けた場合は、プリンターが自動的に回転角度を決定します。 チェックを外した場合は、処理したイメージをそのまま印刷します。 ※通常はチェックを外します。									
用紙種類		印刷する用紙種類を指定します。 名称のボタンをクリックするとメニューを表示します。									
	更新	用紙情報をプリンターから取得して、用紙種類を更新します。									
	クリア	※使用しません。									
ミラー		チェックを付けた場合は、画像を左右反転します。									
ネガポジ反転		チェックを付けた場合は、処理元ファイルの画像をネガポジ反転します。									
トリミング		トリミングに関する情報を指定します。									
	余白削除	チェックを付けた場合は、余白がなくなるように描画領域の大きさと画像を切り出します。 チェックを外した場合は、画像の切り出しを行いません。									
	定形カット	チェックを付けた場合は、「用紙サイズ編集」画面で設定した用紙サイズの大きさと画像の長さを決定して切り出します。 チェックを外した場合は、画像の長さで切り出します。									
	下色除去	チェックを付けた場合は、黒を単色で印刷するように画像処理を行います。									
画像位置		画像位置の基点を指定します。									
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>左上</td> <td>上中央</td> <td>右上</td> </tr> <tr> <td>左中央</td> <td>中央</td> <td>右中央</td> </tr> <tr> <td>左下</td> <td>下中央</td> <td>右下</td> </tr> </tbody> </table>	左上	上中央	右上	左中央	中央	右中央	左下	下中央	右下
左上	上中央	右上									
左中央	中央	右中央									
左下	下中央	右下									
	XY	基点に対するオフセット量を指定します。(単位:ミリメートル) 正の値を指定した場合は、右下方向に移動します。 負の値を指定した場合は、左上方向に移動します。									
余白		余白に関する情報を指定します。(単位:ミリメートル) 正の値を指定した場合は、余白を付加します。 負の値を指定した場合は、画像を削ります。									
	上下	画像の先端と後端に対して処理を行います。									
	左右	画像の左右に対して処理を行います。									

名称	機能	
プリンター設定	プリンターに関する情報を指定します。	
解像度	転送先プリンターの解像度を指定します。(単位:DPI) 0を設定した場合は、解像度変換の処理を行いません。	
最大用紙幅	転送先プリンターの最大用紙幅を指定します。(単位:ミリメートル) A0モデルの場合は、“841”または“914”を指定します。 A1モデルの場合は、“594”を指定します。 0を設定した場合は、判定した用紙サイズに合わせた幅になります。 KIPRipTが生成する印刷イメージの幅に影響します。	
最小カット長	転送先プリンターの最小カット長を指定します。(単位:ミリメートル) プリンターが KIP Color 80 の場合は、“420”を指定します。 それ以外のプリンターは、“210”を指定します。 0を設定した場合は、最小カット長の調整を行いません。 KIPRipTが生成する印刷イメージの長さに影響します。	
排紙トレイ	チェックを付けた場合、排紙トレイの設定を有効にします。 ※上部排紙の機能を持つプリンターで有効な設定です。	
	上部排紙	プリンターの上部に排紙します。
	後部排紙	プリンターの後ろに排紙します。
画像補正	チェックを付けた場合、画像補正の設定を有効にします。 設定した値の画像補正 (Image Enhancement) を行うようにプリンターへ指示します。通常は、“1”を指定します。 ※System K (カラー)、System K (モノクロ)、KS8/IPS (カラー) で有効な設定です。	
用紙情報	用紙に関する情報を指定します。	
最大用紙幅を超える 画像はエラー	用紙 1~4 に指定した用紙幅の最大、または基本設定の最大用紙幅を超えるイメージの処理方法を指定します。 チェックを付けた場合、エラーになります。 チェックを外した場合、プリンターに転送します。	

名称		機能
用紙 1~4		給紙段ごとの幅、用紙種類、許容値を表示、指定します。
幅(mm)		用紙の幅を指定します。(単位:ミリメートル) “0”を指定した場合は、その番号の給紙段を使用していないものと判断します。 名称のボタンをクリックするとメニューを表示します。
	更新	用紙情報をプリンターから取得して、用紙の幅を更新します。
	クリア	すべての用紙の幅を“0”にします。
用紙種類		用紙の種類を表示します。修正はできません。 名称のボタンをクリックするとメニューを表示します。
	更新	用紙情報をプリンターから取得して、用紙種類を更新します。
	クリア	すべての用紙種類の情報をクリアします。
許容値		プリンターにセットした用紙を使用するための許容値を指定します。(単位:ミリメートル)
手差し		チェックを付けた場合、手差しを有効にします。用紙 1~4 は使用しません。 チェックを外した場合、手差しを無効にします。用紙 1~4 を使用します。
用紙サイズ		使用する手差し用紙サイズを指定します。
	カスタム用紙	任意の用紙サイズを使用します。 幅と高さの値を入力します。(単位:ミリメートル)
	自動	手差し用紙サイズで設定した用紙サイズから判定した用紙サイズを使用します。
下色除去		チェックを付けた場合は、黒を単色で印刷するように画像処理を行います。
特色濃度		特色版の濃度に関する情報を指定します。
特色 1~4		各特色と地色の CMYK 濃度を指定します。 実際には、トーンカーブの結果に対して濃度調整を行います。
地色		チェックを付けた場合は、地色の機能が有効になります。 ※サンプル色は、実際の印刷結果とは異なります。
	シアン	シアン色の濃度を指定します。(単位:パーセント)
	マゼンタ	マゼンタ色の濃度を指定します。(単位:パーセント)
	イエロー	イエロー色の濃度を指定します。(単位:パーセント)
	ブラック	ブラック色の濃度を指定します。(単位:パーセント)

5.3.3 画質設定

ホットフォルダの画質機能を設定します。

名称	機能	
ディザリング	ディザリングに関する情報を指定します。	
すべて同じ設定を使う	チェックを付けた場合、CMYK、特色 1～4 すべての版で同じディザリング設定を使用します。地色は、独立した設定になります。 チェックを外した場合、版別のディザリング設定を使用します。	
アルゴリズム	解像度変換と2値化の処理で使用するディザリングの方法を指定します。下記のいずれかを指定します。	
	なし	平均画素法で取得したピクセルの濃度に対して、しきい値を境に白黒を決定します。
	誤差拡散: Floyd-Steinberg	「Floyd-Steinberg」フィルタによる処理を行います。しきい値を境に白黒を決定します。
	誤差拡散: Jarvis, Judice & Ninke	「Jarvis, Judice & Ninke」フィルタによる処理を行います。しきい値を境に白黒を決定します。
	パターン:Bayer 型 4 階調(2x2)	「Bayer 型」フィルタによる 4 階調の処理を行います。
	パターン:Bayer 型 16 階調(4x4)	「Bayer 型」フィルタによる 16 階調の処理を行います。
	パターン:Bayer 型 64 階調(8x8)	「Bayer 型」フィルタによる 64 階調の処理を行います。
	パターン:Bayer 型 256 階調(16x16)	「Bayer 型」フィルタによる 256 階調の処理を行います。

名称	機能	
アルゴリズム	網点	独自時の「網点型」フィルタによる処理を行います。線数と角度の設定で画質が決定します。
補正	アルゴリズムが誤差拡散の場合、ハイライト部分に発生する誤差拡散特有のパターンを軽減する補正を行います。 チェックを付けた場合、補正を行います。 チェックを外した場合、補正を行いません。	
しきい値	値が小さくなるほど、細い線や小さな点が印刷されなくなります。 値が大きくなるほど、線や文字がつぶれ易くなります。 初期値は 127 です。0~254 の値を指定します。 アルゴリズムで「なし」「誤差拡散:Floyd-Steinberg」「誤差拡散:Jarvis, Judice & Ninke」を指定した場合に有効です。	
振れ幅	しきい値の振れ幅を指定します。 入力した値に応じて、画像処理のしきい値が動的に変化します。モアレが発生する場合に 20~30 の値を指定します。 初期値は 0 です。0~254 の値を指定します。 アルゴリズムで「なし」「誤差拡散:Floyd-Steinberg」「誤差拡散:Jarvis, Judice & Ninke」を指定した場合に有効です。	
線数	「網点型」フィルタの階調数を決定するための線数を指定します。 0 を指定した場合は、256 階調になるようにフィルタを調整します。 アルゴリズムで「網点」を指定した場合に有効です。	
角度	「網点型」フィルタの角度を指定します。 色別に指定することが可能です。 アルゴリズムで「網点」を指定した場合に有効です。	
トーンカーブ	指定したトーンカーブの名前を表示します。 [変更]ボタンをクリックすると、「トーンカーブ」画面を表示します。	
精細処理	精細処理に関する情報を指定します。 KIPTIFFHQ USB キーをコンピュータに接続している場合に有効です。	
解像度変換	チェックを付けた場合、KIPTIFFHQ オプションを利用して、解像度変換の画像処理を行いません。(1bit TIFF のみ対応。ディザリング設定は無視) チェックを外した場合、画像処理はディザリング設定に従います。	
スケール変換	チェックを付けた場合、KIPTIFFHQ オプションを利用して、スケール変換の画像処理を行いません。(1bit TIFF のみ対応。ディザリング設定は無視) チェックを外した場合、画像処理はディザリング設定に従います。	

5.3.4 レイアウト

ホットフォルダのレイアウト機能を設定します。

名称	機能
ヘッダー/フッター	ヘッダー/フッターに関する情報を指定します。
ヘッダー	
左	左上に印字する文字列を指定します。
中央	上中央に印字する文字列を指定します。
右	右上に印字する文字列を指定します。
[▼]	定義済みのマクロ文字を挿入するためのメニューを表示します。
ヘッダー	
左	左下に印字する文字列を指定します。
中央	下中央に印字する文字列を指定します。
右	右下に印字する文字列を指定します。
[▼]	定義済みのマクロ文字を挿入するためのメニューを表示します。
フォント	現在のフォント設定を表示します。
[フォントの選択...]	ダイアログボックスを表示します。フォント名、サイズ、太字、斜体が指定可能です。

名称		機能
オフセット		
上下		上下のオフセット量をミリメートルで指定します。 正の値を指定した場合は、基点は画像の内側に移動します。 負の値を指定した場合は、基点は画像の外側に移動します。
左右		左右のオフセット量をミリメートルで指定します。 正の値を指定した場合は、基点は画像の内側に移動します。 負の値を指定した場合は、基点は画像の外側に移動します。
画像領域を基点にする		チェックを付けた場合、基点は画像の領域になります。 チェックを外した場合、基点は印刷イメージの領域になります。
枠線		枠線に関する情報を指定します。
画像枠		チェックを付けた場合、イメージの領域に枠線を描画します。
線幅		画像枠の線幅を指定します。(単位:ピクセル) 1 よりも大きい値を指定した場合、線幅は外側へ広がります。

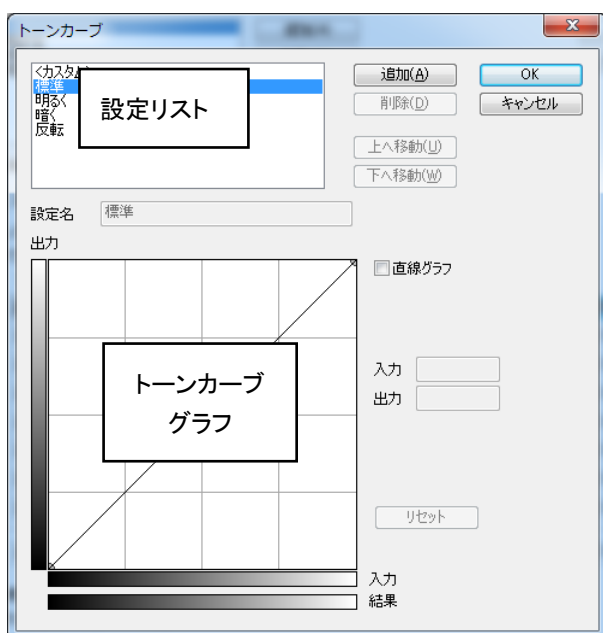
<定義済みのマクロ文字>

マクロ文字	メニュー	説明
<FILENAME>	【ファイル名】	ファイル名から抽出した「イメージ名称」
<FILENAME:C>	【分版】-【シアン】	シアン版のファイル名
<FILENAME:M>	【分版】-【マゼンタ】	マゼンタ版のファイル名
<FILENAME:Y>	【分版】-【イエロー】	イエロー版のファイル名
<FILENAME:K>	【分版】-【ブラック】	ブラック版のファイル名
<FILENAME:S1>	【分版】-【特色 1】	特色 1 版のファイル名
<FILENAME:S2>	【分版】-【特色 2】	特色 2 版のファイル名
<FILENAME:S3>	【分版】-【特色 3】	特色 3 版のファイル名
<FILENAME:S4>	【分版】-【特色 4】	特色 4 版のファイル名
<DATE>	【日付】	コンピュータの日付(YYYY/MM/DD)
<TIME>	【時間】	コンピュータの時間(hh:mm:ss)
<ROTATE>	【回転角度】	イメージの回転角度
<RES0>	【解像度】	処理元イメージの解像度
<SIZE>	【画像サイズ】	処理元イメージのサイズ(幅 x 長さ mm)
<PAPERSIZE>	【出力サイズ】	出カイメージのサイズ(幅 x 長さ mm) ※最小カット長の大きさは含みません
<MEDIATYPE>	【用紙種類】	設定した用紙種類

マクロ文字	メニュー	説明
<RIPSETTING>	【RIP 設定】-【詳細設定】	RIP 設定の各種情報
<RIPNAME>	【RIP 設定】-【設定名】	RIP 設定の設定名
<SRCDIR>	【RIP 設定】-【入力フォルダ】	RIP 設定の入力フォルダ
<SRCIMGINFO>	【入力画像情報】	入力画像の情報(ファイル名、幅高さ、解像度、色数、圧縮形式、ファイルサイズなど)
<DSTIMGINFO>	【出力画像情報】	出力画像の情報(幅高さ、解像度など)

5.4 「トーンカーブ」画面の詳細

ここでは、「トーンカーブ」画面の構成や機能の詳細について説明します。
 この画面は、メニューバーの【ツール】-【RIP 設定】で表示する「RIP 設定」画面の詳細設定で、トーンカーブの[変更]ボタンをクリックすることで表示します。
 この設定は、画質調整の「解像度変換」「2 値化」の処理で使用します。



名称	機能
設定リスト	設定したトーンカーブのリストを表示します。 ディザリングで使用するトーンカーブの名前を選択します。
[追加]	新規に「設定リスト」に追加します。表示中の設定で初期化します。
[削除]	「設定リスト」で選択しているトーンカーブをリストから削除します。
[上へ移動]	「設定リスト」で選択しているトーンカーブの位置を上に移動します。
[下へ移動]	「設定リスト」で選択しているトーンカーブの位置を下に移動します。
設定名	トーンカーブの設定名を指定します。
トーンカーブグラフ	決定したトーンカーブのグラフを表示します。
[OK]	設定した内容で更新して、「トーンカーブ」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「トーンカーブ」画面を閉じます。

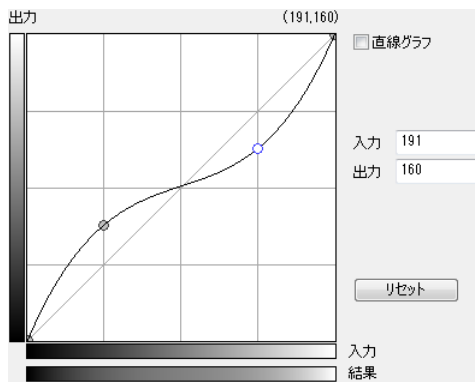
下記は、固定の設定です。

順番	設定名	トーンカーブの変更	設定名の変更	順番の変更
1	<カスタム>	○	×	×
2	標準	×	×	×
3	明るく	×	×	×
4	暗く	×	×	×
5	反転	×	×	×

※ <カスタム>のみ、トーンカーブの変更が可能です。一時的な設定の場合に使用します。

5.4.1 トーンカーブグラフ

ポイントの追加、削除、移動を行ってトーンカーブのグラフを設定します。



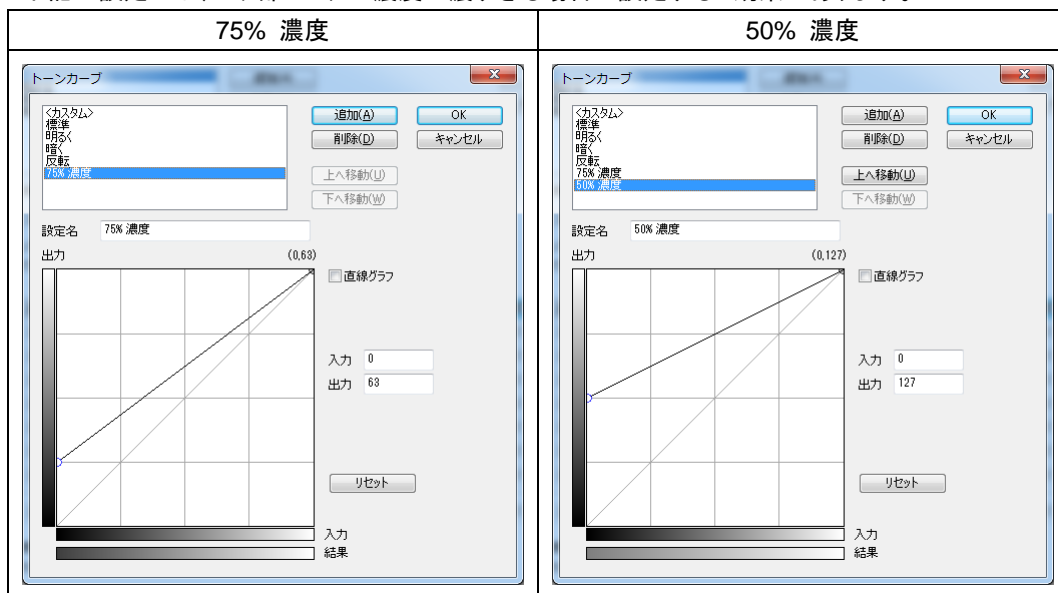
名称	機能
直線グラフ	チェックを付けると、トーンカーブのグラフは直線になります。 チェックを外すと、トーンカーブのグラフは曲線になります。
入力	選択ポイントの入力の明るさを指定します。0～255 の値を指定します。
出力	選択ポイントの出力の明るさを指定します。0～255 の値を指定します。
[リセット]	グラフを変更前の状態に戻します。

<主なマウスの操作>

操作	説明
左クリック	マウスカーソルの位置にポイントを追加します。 追加可能なポイントの数は5か所までです。 マウスカーソルの位置にポイントがある場合は、ポイントを選択します。
左ドラッグ	選択したポイントを移動します。
右クリック	マウスカーソルの位置にあるポイントを削除します。 両端のポイントを削除することはできません。

5.4.2 トーンカーブ設定例

下記の設定では、ベタ部のトナー濃度が濃すぎる場合に設定すると効果があります。



※ 使用するプリンターの機種によっては、期待するような効果が得られない可能性があります。

5.5 「用紙サイズ編集」画面の詳細

ここでは、「用紙サイズ編集」画面の構成や機能の詳細について説明します。

この画面は、メニューバーの【ツール】-【用紙サイズ編集】または、【ツール】-【手差し用紙サイズ編集】を選択することで表示します。

【用紙サイズ編集】の設定は、「トリミング 定形サイズ」の機能で使します。

【手差し用紙サイズ編集】の設定は、「手差し」の機能で使します。



ボタン名称	機能
[追加]	用紙サイズリストの最後に行を追加します。
[削除]	選択している(背景が水色)用紙サイズを削除します。
[表示更新]	「用紙サイズリスト」をソートして表示を更新します。
[OK]	「用紙サイズリスト」をソートし、設定した内容で更新して、「用紙サイズ編集」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「用紙サイズ編集」画面を閉じます。

■ ソートの順番

用紙サイズは、以下のルールで自動的にソートします。

任意の順番に変更することはできません。

1. 「高さの最大値」を比較して小さい順にソートします。
2. 「高さの最大値」が同じ場合は、「幅の最大値」を比較して小さい順にソートします。
3. 「幅の最大値」が同じ場合は、「用紙サイズ名」を比較して小さい順にソートします。

5.5.1 用紙サイズリスト

用紙サイズを判断するための幅と高さを設定します。

用紙サイズ名	幅			高さ		
	最小≦	基準値	<最大	最小≦	基準値	<最大
A4	1	210	220	1	297	307
A3	1	297	307	1	420	430
A2	1	420	430	1	594	604
A1	1	594	604	1	841	851
A0	1	841	851	1	1189	1199

名称		説明
用紙サイズ名		用紙サイズの名称を設定します。 設定した値は、「既定表示」の用紙サイズ名で使います。 設定した値は、ステータスバーに表示する用紙サイズ名となります。
幅	最小≦	幅の最小値をミリメートルで設定します。少数の指定も可能です。
	基準値	幅の基準値をミリメートルで設定します。少数の指定も可能です。
	<最大	幅の最大値をミリメートルで設定します。少数の指定も可能です。
高さ	最小≦	高さの最小値をミリメートルで設定します。少数の指定も可能です。
	基準値	高さの基準値をミリメートルで設定します。少数の指定も可能です。
	<最大	高さの最大値をミリメートルで設定します。少数の指定も可能です。

※必ず縦置き「幅≦高さ」になるように設定してください。

5.5.2 用紙サイズの判断について

用紙サイズの判断は、「用紙サイズリスト」の上から順番に確認をして、最初に見つかった用紙サイズ名が適用されます。

■処理の詳細

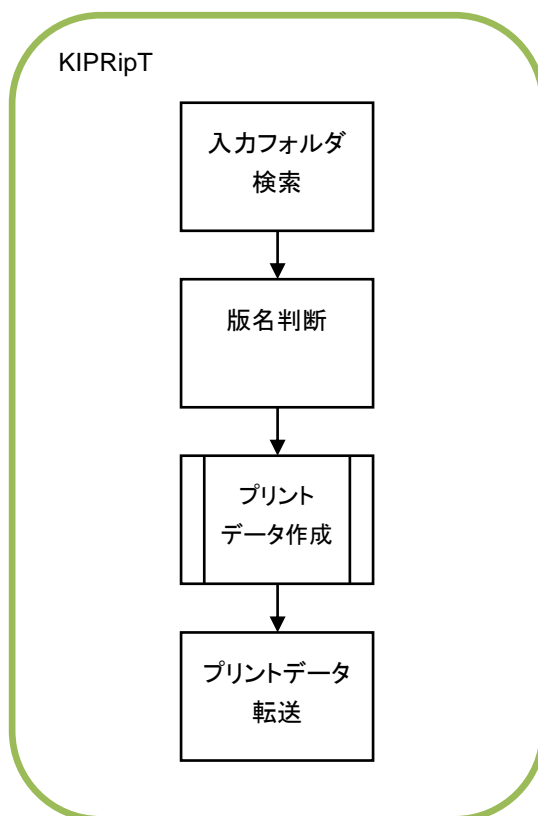
1. 画像の向き(縦置き,横置き)を判断します。
短辺を「幅」、長辺を「高さ」として扱います。
2. 「用紙サイズリスト」の上から順に確認し、最初に以下の二つの条件を満たした用紙サイズ名が、画像の用紙サイズとして適用されます。
 - a. 幅の最小値≦「幅」<幅の最大値であること
 - b. 高さの最小値≦「高さ」<高さの最大値であること

5.6 印刷処理の詳細

ここでは、印刷処理の詳細について説明します。

5.6.1 フローチャート

KIPRipT は下記の流れに従って印刷処理を行います。



5.6.2 処理の詳細

KIPRipT は下記の手順に従って処理を行います。

1. 【入力フォルダ検索】

「RIP 設定」画面で設定した 1 つのホットフォルダの入力フォルダを検索します。

検索時のファイル名は、検索ファイル名に設定した名称とします。

ファイルの属性が、システムファイル、または隠しファイルの場合は処理の対象としません。

TIFF ファイルが見つからない場合は、次の順番のホットフォルダを検索の対象にして、繰り返し検索を行います。

TIFF ファイルが見つかった場合は、その中で一番古いファイルを最初の処理対象ファイルとして、手順 2 に進みます。

※ ファイルの順番は、更新日時と作成日時のうち、新しい方を参照して判断します。

2. 【版名判定】

● ファイル名の解析

処理対象ファイルのファイル名を解析して、「イメージ名称」と「版名」を取得します。

● 同一イメージ名称の抽出

手順 1 で見つかった TIFF ファイルの中から「イメージ名称」が同じものを抽出します。

● 版名が揃っているかの確認

「RIP 設定」画面で設定した「版数」のファイルがすべて見つかった場合は、手順 3 に進みます。

ファイルが不足している場合は、見つかったファイルがタイムアウトの時間を経過していないかを判定します。

タイムアウトの時間を経過していない場合は、データ作成中と判断して、次に古いファイルを処理対象として、手順 2 を繰り返します。

タイムアウトの時間を経過している場合は、設定に従って処理を行います。

「エラー」の場合は、エラーフォルダに移動します。

「そのまま印刷」の場合は、手順 3 に進みます。

すべての TIFF ファイルを確認しても手順 3 に進めない場合は、次の順番のホットフォルダを検索の対象にして、手順 1 に戻ります。

3. 【プリントデータ作成】

3-1. 画質調整

画像の画質に関する処理を行います。

すべての版(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、特色 1~4)に対して処理を行います。

また、版が特色 1~4 の場合は、「特色濃度」の設定に従って、基本色の版(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)の画像をそれぞれ生成します。

● 画像ファイルの読み込み

TIFF ファイルを読み込みます。

● 画像サイズ取得

イメージの幅と高さを取得します。

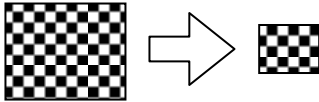
● スケールと解像度変換

「スケールが 100%以外」や「プリンターの解像度とイメージの解像度が異なる」など、画像処理が必要と判断した場合にスケールと解像度変換の処理を行います。

【精細処理】

イメージがモノクロ 2 値で、精細処理の「解像度変換」または「スケール変換」にチェックを付けた場合、KIPTIFFHQ オプションを利用して、画像処理を行います。

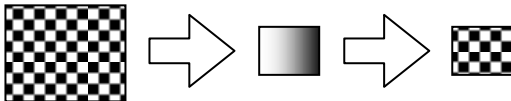
通常処理で不要な画像処理が発生しないように、「画像サイズの再取得」と「スケールと解像度の再調整」を行います。



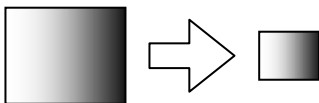
【通常処理】

イメージがモノクロ 2 値の場合は、画像を一時的にグレースケールとして扱い、ディザリングの設定に従って処理します。グレースケールの濃淡は、「トーンカーブ」の設定に従います。また、版が特色の場合、濃淡は更に「特色濃度」の設定に従います。

※ ネガポジ反転が有効な場合は、ここで処理を行います。



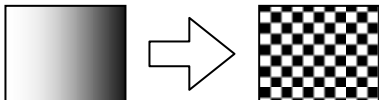
イメージがグレースケールの場合は、グレースケールのままで処理します。



● 2 値化

イメージがグレースケールの場合に処理を行います。

ディザリングの設定に従って処理します。グレースケールの濃淡は、「トーンカーブ」の設定に従います。また、版が特色の場合、濃淡は更に「特色濃度」の設定に従います。

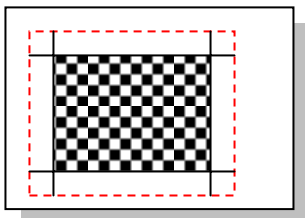


※ ネガポジ反転の処理を行っていない場合は、ここでネガポジ反転を行います。

● トリミング情報の取得

トリミング設定の「余白削除」にチェックが付いている場合に処理を行います。

イメージが描画されている領域を取得します。



● 作業用ファイルに保存

解像度変換と2 値化を処理した結果をファイルに保存します。

3-2. 重ね合わせ

処理対象に特色を含んでいる場合のみ処理を行います。

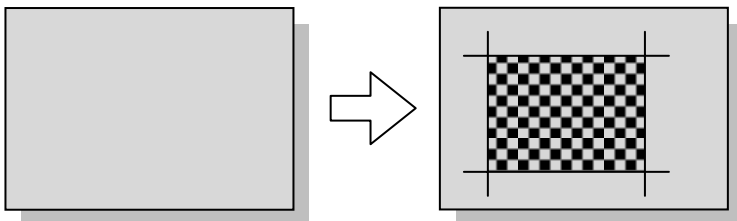
「3-1.画質調整」で作成した特色 1~4 の画像を基本色の版(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)に透過で重ね合わせます。

3-3. 地色

特色濃度の「地色」にチェックが付いている場合に処理を行います。

「特色濃度」の設定に従って、基本色(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)毎に地色画像を生成します。ディザリングの設定に従って2 値化します。

基本色の版(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)に透過で重ね合わせます。



3-4. サイズ調整

画像の大きさや向きに関する処理を行います。

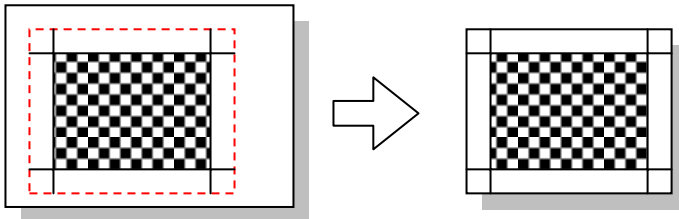
基本色の版(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)に対して処理を行います。

● トリミング 余白削除

トリミング設定の「余白削除」にチェックが付いている場合に処理を行います。

「トリミング情報の取得」で取得した領域でイメージを切り出します。

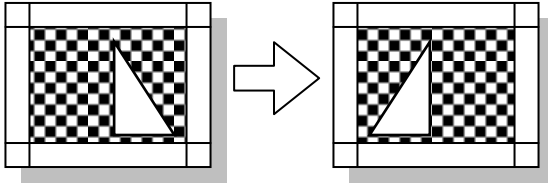
※ 切り出す領域は、すべての版の領域を合わせて、イメージが欠落しないように領域を調整します。



● ミラー

「ミラー」にチェックが付いている場合に処理を行います。

イメージを左右反転します。



● 回転と出力サイズの決定

「RIP 設定」画面で設定した回転から【回転角度】と【出力サイズ】を決定します。

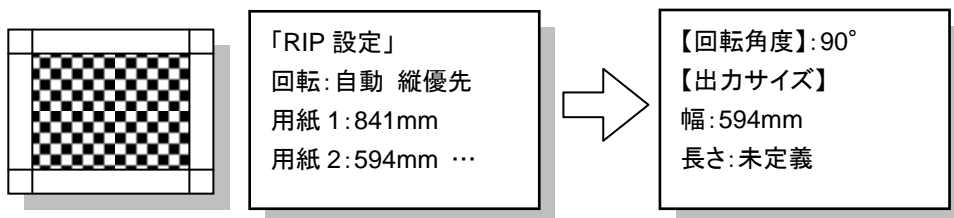
イメージの幅と高さ、または短辺から用紙サイズを判定します。

○ 手差し無効の場合

幅と高さでサイズが判定できた場合は、判定した用紙サイズの基準値を【用紙サイズ】とします。短辺でサイズが判定できた場合は、短辺が用紙サイズの基準値、長辺がイメージの長さを【用紙サイズ】とします。

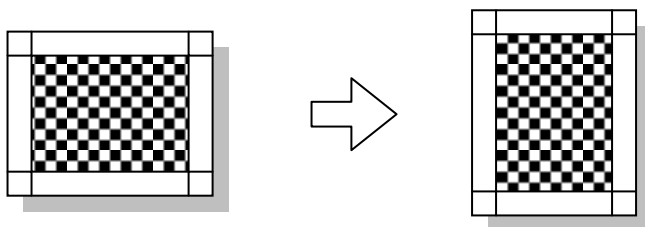
	■ 幅と高さで判定 A0: 1189 x 841 mm A1: 841 x 594 mm A2: 594 x 420 mm ...	■ 短辺のみ A0: 長辺 x 841 mm A1: 長辺 x 594 mm A2: 長辺 x 420 mm ...
--	--	---

イメージの幅と高さ、【用紙サイズ】、「RIP 設定」画面で設定した回転と用紙情報(幅、用紙種類、許容値)から無駄の少ない用紙を選択して、【回転角度】と【出力サイズ】の幅を決定します。



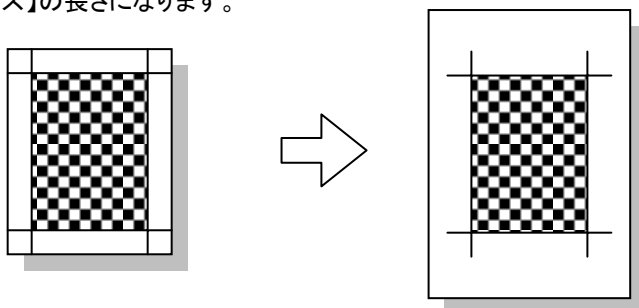
用紙情報から適切な用紙が見からない場合は、「RIP 設定」画面で設定した最大用紙幅を【出力サイズ】の幅とします。また、最大用紙幅が0の場合は、【用紙サイズ】と【回転角度】から【出力サイズ】の幅を決定します。

【回転角度】に従って、イメージを回転します。

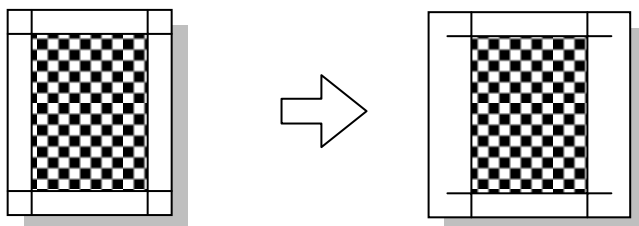


【出力サイズ】の長さを決定します。

「RIP 設定」画面で設定した定形カットにチェックを付けた場合、【出力サイズ】の長さは【用紙サイズ】の長さになります。



定形カットのチェックを外した場合、【出力サイズ】の長さはイメージの高さになります。



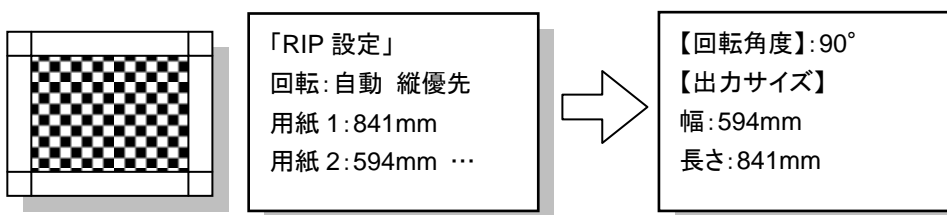
○ 手差し有効の場合

幅と高さでサイズが判定できた場合は、判定した用紙サイズの基準値を【用紙サイズ】とします。短辺でサイズが判定できた場合は、短辺が用紙サイズの基準値、長辺は「定形カット」の設定に従って用紙サイズの基準値またはイメージの長さを【用紙サイズ】とします。

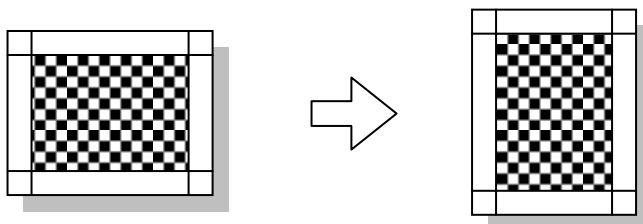
<p>■幅と高さで判定</p> <p>A0: 1189 x 841 mm A1: 841 x 594 mm A2: 594 x 420 mm ...</p>	<p>■短辺のみ</p> <p>定形カット: 有効</p> <p>A0: 1189 x 841 mm A1: 841 x 594 mm A2: 594 x 420 mm ...</p>	<p>定形カット: 無効</p> <p>A0: 長辺 x 841 mm A1: 長辺 x 594 mm A2: 長辺 x 420 mm ...</p>
--	--	---

プリンターの仕様上、手差しの【用紙サイズ】は縦置きになります。例外として、短辺が297mmより小さい場合は横置きになります。この時点で【出力サイズ】の幅と長さは決定します。

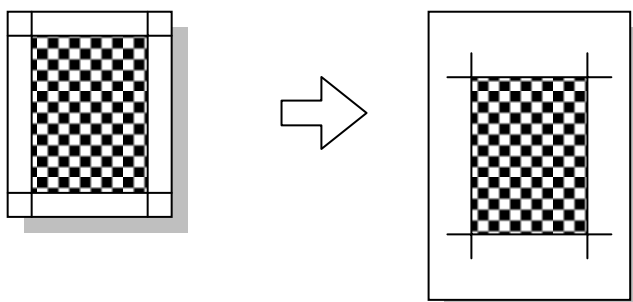
「RIP 設定」画面で設定した回転が、「0°」「左90°」「180°」「右90°」の場合は設定した角度、それ以外の場合は【用紙サイズ】の向きに合うように【回転角度】を決定します。



【回転角度】に従って、イメージを回転します。



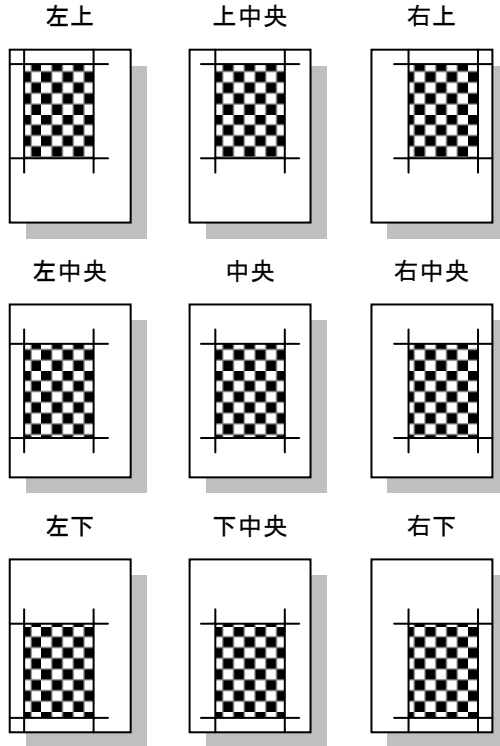
【出力サイズ】の長さは【用紙サイズ】の長さになります。



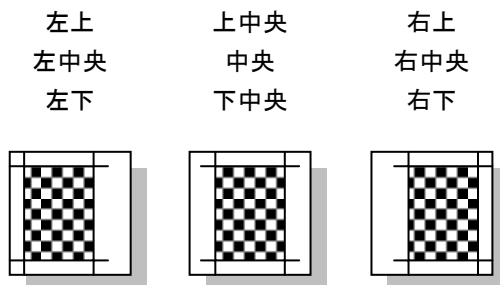
● 出力サイズ

「RIP 設定」画面で設定した画像位置に従って、イメージを【出力サイズ】を決定し、イメージを配置します。

○ 定形カットにチェックを付けた場合



○ 定形カットのチェックを外した場合



※【出力サイズ】の長さがイメージと同じため、上下の区別はありません。

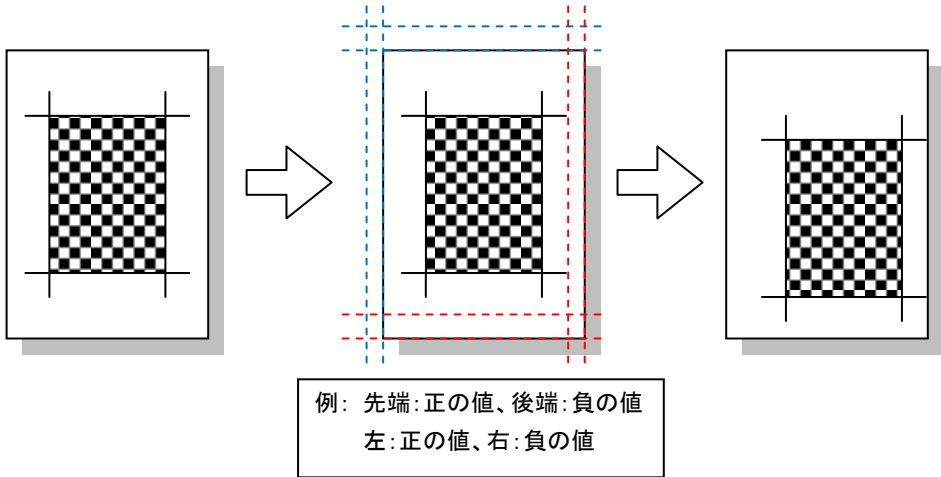
● トリミング 調整サイズ

「RIP 設定」画面で設定した余白から【調整サイズ】を決定します。

設定値が正の場合は、余白を付加します。

設定値が負の場合は、画像を削ります。

決定した【調整サイズ】に従って、イメージを切り出します。

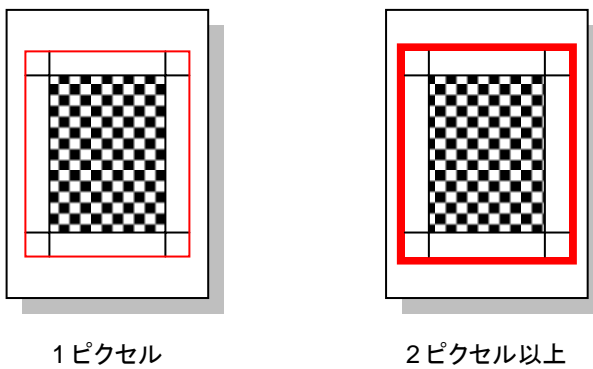


● 画像枠の描画

「RIP 設定」画面で設定した画像枠に従って、枠線を描画します。

画像枠は必ず、1ピクセル分だけイメージの領域に重なります。

線幅が1ピクセルより大きい場合は、「線幅-1」の幅だけ外側へ広がります。



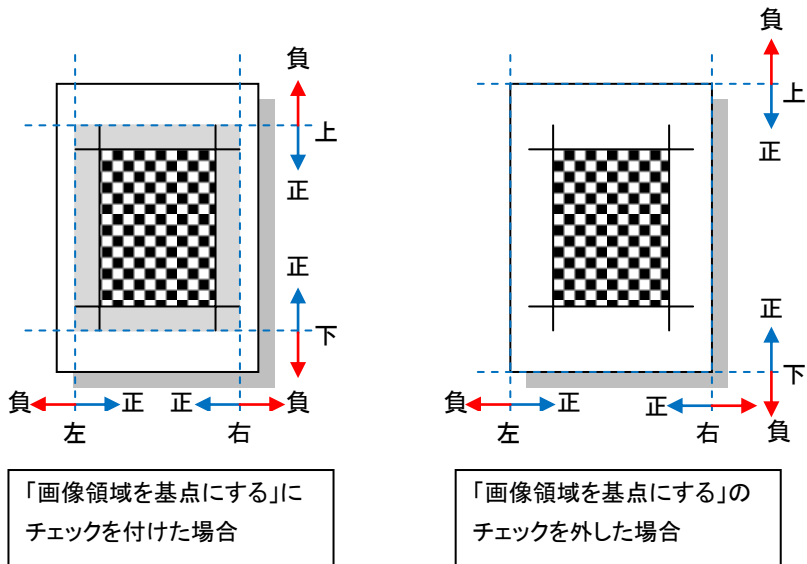
● ヘッダー/フッター

「ヘッダー/フッター」に文字列を指定している場合に処理を行います。

設定に従ってブラック版のイメージに文字列を合成します。

オフセットの設定値が正の場合は、基点が内側に移動します。

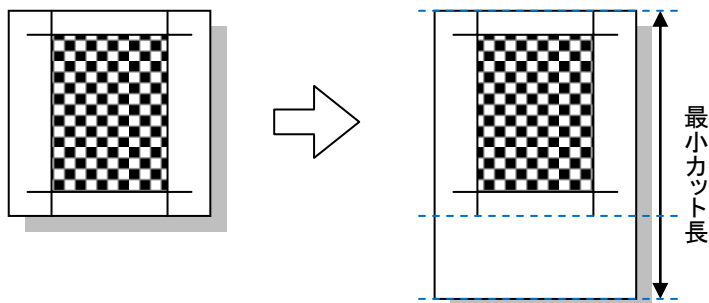
オフセットの設定値が負の場合は、基点が外側に移動します。



● 最小カット長

「最小カット長」の設定値が0より大きい場合に処理を行います。

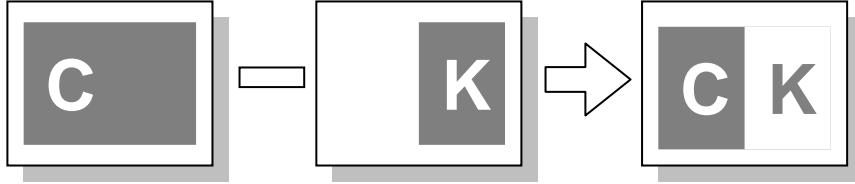
出カサイズの長さが設定値よりも短い場合は、後端に余白を付加します。



- 下色除去

「下色除去」にチェックが付いている場合に処理を行います。

黒を単色で印刷するように、シアン、マゼンタ、イエロー版のイメージから、ブラック版のイメージと色が重なる個所を取り除きます。



- 1枚に重ね合わせ

プリンター種類が「KIP プリンター(モノクロ)」「Starprint シリーズ」で、「分版ファイル」の場合に処理を行います。すべての版のイメージを1枚に透過で重ね合わせます。

- 作業用ファイルに保存

最終的な印刷イメージを、プリンター種類に合わせたフォーマットで保存します。

- ジョブ情報の設定

プリンター種類に合わせたフォーマットでジョブ情報を設定して、プリントデータを作成します。

4. 【プリントデータ転送】

手順3で作成したプリントデータを転送します。

転送先は「RIP 設定」画面で設定した出力フォルダになります。

処理対象ファイルになったすべてのファイルを削除します。

手順1に戻ります。

<空白ページ>

お問合せ先

内容についてのお問い合わせは本社へ、製品に関するお問い合わせは桂川電機株式会社ならびに株式会社ケイアイピーまでお願いいたします。

桂川電機株式会社

〒146-8585 東京都大田区下丸子 4 丁目 21 番 1 号
TEL (03) 3756-1100(代) FAX (03) 3758-8384

株式会社ケイアイピー

本社	／	〒146-0093 東京都大田区矢口 1 丁目 5 番 1 号 TEL (03) 3756-1101(代) FAX (03) 3756-1106
大阪支店	／	〒540-0024 大阪市中央区南新町 1 丁目 2 番 4 号 TEL (06) 6910-6105(代) FAX (06) 6910-6109
名古屋営業所	／	〒464-0858 名古屋市千種区千種 3 丁目 29 番 14 号 TEL (052) 741-0015(代) FAX (052) 741-0018
北関東営業所	／	〒323-0829 栃木県小山市東城南 4 丁目 28 番 3 号 TEL (0285) 31-1172(代) FAX (0285) 27-1909
九州営業所	／	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1 丁目 14 番 3 号 TEL (092) 412-0911(代) FAX (092) 412-0912

営業日 : 月曜日から金曜日まで(祝祭日を除く)
お問い合わせ時間 : 午前 9:00 より午後 5:00 まで

<空白ページ>

KIPRipT 取扱説明書

発行日 平成 27 年 9 月 3 日

第 17 版

発行所 桂川電機株式会社

〒146-8585 東京都大田区下丸子 4 丁目 21 番 1 号

TEL (03) 3756-1100

FAX (03) 3758-8384

5287190060 / TW-534-00